

電 気 設 備 工 事 (宮 繕 工 事)

1. 工事概要

1. 工事場所 安曇野市三郷小倉

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考

3. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
電 灯 設 備		○	・	・	
動 力 設 備	幹線、分岐	・	・	・	
電 熱 設 備	幹線、分岐	・	・	・	
雷 保 護 設 備		・	・	・	
受 変 電 設 備		・	・	・	
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	・	・	・	
発 電 設 備		・	・	・	
構内情報通信網設備	LAN用配管	・	・	・	
構内交 換 設 備	電話設備	・	・	・	
情 報 表 示 設 備	時計設備	・	・	・	
映 像 ・ 音 響 設 備		・	・	・	
拡 声 設 備		・	・	・	
誘 導 支 援 設 備	インターホン・トイレ呼出し設備	・	・	・	
テレビ共同受信設備		・	・	・	
監視カメラ設備		・	・	・	
駐車場管制設備		・	・	・	
防犯・入退室管理設備	予備配管	・	・	・	
自動火災報知設備		・	・	・	
自動閉鎖設備		・	・	・	
非常警報設備	非常放送装置	・	・	・	
ガス漏れ警報設備		・	・	・	
中央監視制御設備		・	・	・	
構内配電線路		・	・	・	
構内通信線路		・	・	・	
昇 降 機 設 備		・	・	・	

4. 圖面目錄

[illegible]

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。))、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。))による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項						
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。						
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。						
3 化学物質を発散する 建 築 材 料 等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。</p> <p>ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該 当 す る 建 築 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 制 対 象 外</td><td> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJIS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> </td></tr> <tr> <td>第 三 種</td><td> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③JISのE○規格品</p> <p>④JISのF○規格品</p> </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料	規 制 対 象 外	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJIS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p>	第 三 種	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③JISのE○規格品</p> <p>④JISのF○規格品</p>
ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料						
規 制 対 象 外	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJIS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p>						
第 三 種	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の第5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③JISのE○規格品</p> <p>④JISのF○規格品</p>						
4 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。						
5 電気工事士	契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。						
⑥ 実施工程表及び 施工計画書	<p>(1) 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。</p> <p>(2) 工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。</p>						
⑦ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。						
8 発生材の処理	<p>(1) 引渡しを要するもの ・ 無 ・ 有 ()</p> <p>(2) 引渡しを要するもの以外 ・ 構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。</p> <p>(3) 特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 ()</p> <p>(4) 再利用又は再資源化を図るもの ・ 無 ・ 有 (・ コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)</p>						
⑨ 監督員事務所	○設けない ・ 設ける (規模:) ・ 備品 ()						
⑩ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○ できる ・ できない						
11 足場・さん橋類	・ 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等 (・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場) ・ 外部仮設足場等 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種) ・ 防護シート ()						
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。						
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。						
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。						
15 再 用 機 器	取外し再用機器は、原則として清掃及び総経路抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。						
16 耐 震 施 工	<p>設備機材の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>(1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。</p>						

項	目	特 記 事 項					
		設計用標準水平地震震度					
		設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
		上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
			防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
			水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
		中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
			防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
			水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
		地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
			防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
			水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
		（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。					
		⑨ 重要機器の定義は次による。					
		・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置					
		・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置					
		⑩ 上層階の定義は次による。					
		2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、					
		10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。					
		(2) 設計用鉛直地震力					
		設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。					
17	あと施工アンカー	(1) 重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2節8.2.4及び11節による。					
		（引抜き試験を ・実施する ・実施しない）					
18	防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。					
⑪	電線・ケーブル	(1) EM-EFF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「99がむ」EM-EFF」と表記されたものを使用する。					
		(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。					
20	予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで上上げる。					
21	呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。					
22	金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。					
		・屋 外 ・屋 内（ ）					
⑫	埋 め 戻 し 土	・種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種					
		・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める					
⑬	建設発生土の処理	・管外露出処理 ○構内の指定場所に敷き均し					
⑭	ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。					
		・鉄製 ○コンクリート製					
		(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設保護シートを敷設する。					
		(3) 配管埋設深さが750mmを超える場合は、地中線埋設保護シートは2条以上敷設する。					
26	ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。					
		(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。					
27	フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製					
28	プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を突装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。					
29	配 線 器 具	タップスイッチは通形とする。					
		壁付けコンセント(2P15A)は原則として通形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。					
30	フロアコンセント	・直付（止め止め）型上下式 ・銅合金製 ・アルミ製）とする					
		・直付（止め止め）型垂直上下式（銅合金製）とする					
31	機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等の配線の接続は本工事とする。					
32	照 度 測 定	(1) 非常用照度の照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。					
		(2) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定黒板面： 箇所）					
		※教室の照度は、1教室当たり机上9箇所、黒板黒面9箇所で測定する					
33	盤 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。					
		(2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。					
34	グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目					
		<資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・（ ）					
		<建設機器> ・排ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器					
35	他工事又は他工種との取り合い	工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。					
⑯	その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。 （長野県公式ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公告の添付図書）					

3. ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

ブロックハンドホール（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）

- ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
- ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

・	ハンドホール No.ー	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900×1、100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900× 900× 900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1、060以上 (既製足場付)
◎	ハンドホール No.ー	600× 600× 680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	680D (既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	450× 450× 680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※植栽等車道の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4. 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種 接 地	銅板 1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋置中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 2m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板 1.5×600×600 リード端子付 堀削埋置中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 2m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板 1.5×300×300 リード端子付 堀削埋置中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 1.5m 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)
○	D 種 接 地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設標 (黄銅製又はステンレス製)

5. 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)		
電	巻引用計器	地上～上端	2,000	時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500		
	引込開閉器	床上～上端	1,800		子 時 計	“	“	(上端1,900以下)	
	警 報 盤	床上～中心	1,500			“	“	“	(天井高)×0.9
	分 電 盤	床上～中心	1,500			壁掛形スピーカー	“	“	(天井高)×0.9
			(上端1,900以下)			アッテナー	“	“	1,300
	タンブラスイッチ	“	1,300			表 示 壁	床上～中心	(天井高)×0.9	
	“ (身障者用)	“	1,100			壁 付 兼 信 器	“	1,300	
	コンセント(一般)	“	300			ベル	“	(天井高)×0.9	
	“ (和室)	“	150			プ ザ ー	“	(天井高)×0.9	
	“ (便所等)	“	500			押 ボ タ ン	“	1,300	
“ (台上)	台上～中心	150	“ (身障者用押鈕)	“		900			
ブラケット(一般)	床上～中心	2,100	身障者用表示灯	“	2,000				
“ (講席)	“	2,500	復 帰 ボ タ ン	“	1,800				
“ (鏡上)	鏡端～中心	150	インデント	壁付インターホン	床上～中心	1,500			
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		“ (身障者用)	“	1,100			
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁付位置ボックス						
動	壁掛形制御壁	床上～中心	1,500	(壁付インターホンを除く)					
	手元開閉器		(上端1,900以下)	“ (一般)	“	300			
	操作スイッチ	“	1,500	“ (和室)	“	150			
	・押ボタン	“	1,300	ヤンチャ機器					
電	室内端子壁	床上～下端	300	電 信 受 信 箱	床上～中心	(天井高)×0.9			
	(廊下・居室内)			アウトレット					
	中間端子壁	床上～中心	1,500	“ (一般)	“	300			
	(EPS・電気室)			“ (和室)	“	150			
	集合保安器箱	“	(天井高)×0.9	火災	受 信 機	床上～操作部	800～1,500		
	壁付アウトレット				受 信 交 信 機	“	800～1,500		
	ボックス(一般)	“	300		機 器 収 容 箱	床上～中心	800～1,500		
	“ (和室)	“	150		発 信 器	“	800～1,500		
					消 火 栓	“	(天井高)×0.9		
					消 火 栓 表 示 灯	“	(天井高)×0.8		

(別表) しゅん工事時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
① 完成図 ・ 原図（Ａ１版 ケース入り） ○ 製本（主工事にまとめる） ・ マイクロフィルム （バーチャアカード貼付 台紙は黄色） ○ CADデータ ② 設計図 ○ CADデータ ③ 引渡書（主工事に提出） ④ 納入品 ○ 予備品 ○ ハンドホールフック、ジャッキ ○ 盤類の鍵 ・	⑤ 機器完成図 ⑥ 工事写真 ⑦ 完成写真 ⑧ 工事記録 （打合せ簿、工事日誌、協議書） ⑨ 機材の試験成績書 ⑩ 施工の試験成績書 ⑪ 社内試験成績書 ⑫ 発生物処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書 の写し・マニフェストの写し、フロー図） ⑬ 納入品一覧表 ⑭ 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し） ⑮ 保金に関する資料（取扱い説明書も含む）

令和6年度（債務負担行為）
黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事
実施設計図

図 面 目 録

図面番号	図 面 名	縮尺 A1版	摘 要
	特記仕様書		
1	現況図	1/500	
2	仮設図	1/500	
3	表土鋤取り図	1/500	
4	撤去平面図	1/400	
5	堆積土浚渫図	図示	
6	割付図	1/300	
7	施設配置図	1/500	
8	雨水排水計画図	1/300	
9	高さ表示図	1/300	
10	トイレ棟周辺高さ表示図	1/100	
11	植栽計画図(参考図)	1/300	
12	市道詳細図	1/300	
13	全体縦断図	1/400	
14	横断図-1	1/200	P0.0～P10.3
15	横断図-2	1/200	P20.0～P54.8
16	横断図-3	1/200	P59.2～P95.2
17	横断図-4	1/200	P100.2～P140.0
18	横断図-5	1/200	P153.7～P180.0
19	横断図-6	1/200	P197.3～P202.8
20	横断図-7	1/200	P220.0～P230.0
21	流れ割付図	1/300	
22	流れ高さ表示図	1/200	

図面番号	図 面 名	縮尺 A1版	摘 要
23	流れ縦断図-1	1/100	
24	流れ縦断図-2	1/100	
25	流れ縦断図-3	1/100	
26	流れ詳細図-1	図示	
27	流れ詳細図-2	図示	
28	流れ詳細図-3	図示	
29	流れ詳細図-4	図示	
30	撤去参考詳細図	図示	
31	施設詳細図-1	図示	
32	施設詳細図-2	図示	
33	施設詳細図-3	図示	
E-1	電気設備図	NTS	
M-1	配水設備図	1/250	
M-2	配水管詳細図	NTS	
M-3	給水設備図	1/250	

安 曇 野 市

特記仕様書

＜1＞工事概要

- 1 工事名称 令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事
- 2 工事場所 安曇野市 三郷 小倉
- 3 工 期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
- 4 工事内容

- （1） 工事規模 約 1.30 ha
- （2） 工事種目 基盤整備
- （3） 植栽 施設整備
- （4） 給水設備工事
- （5） 雨水排水設備工事
- （6） 汚水排水設備工事
- （7） 電気設備工事
- （8） 植栽基盤工事
- （9） 法面工事
- （10） 樹木移植工事
- （11） 園路広場整備工事
- （12） 遊戯施設整備工事
- （13） サービス施設整備工事
- （14） スタンド整備工事
- （15） 自然育成施設工事
- （16） 自然育成植栽工事
- （17） 樹木整枝工事
- （18） 管理施設整備工事
- （19） 建築施設組立設置工事
- （20） 施設改修工事
- （21） 給水設備工事
- （22） 雨水排水設備工事
- （23） 汚水排水設備工事
- （24） 電気設備工事
- （25） 植栽基盤工事
- （26） 法面工事
- （27） 樹木移植工事
- （28） 園路広場整備工事
- （29） 遊戯施設整備工事
- （30） サービス施設整備工事
- （31） スタンド整備工事
- （32） 自然育成施設工事
- （33） 自然育成植栽工事

＜2＞工事共通図書

1. 本工事に関する図書は下記のとおりとし、優先順位は番号順とする。

- （1） 現場説明書
- （2） 特記仕様書
- （3） 本設計図
- （4） 長野県土木工事実務要覧（最新版） 長野県土木部
- （5） 長野県土木工事特記仕様書（最新版） 長野県土木部
- （6） 長野県土木工事仕様書（最新版） 長野県土木部

＜3＞特記事項

1. 一般事項

- 工事現場の見やすい場所に工事名・工事期間・事業主体名・工事請負者名・現場責任者名・電話番号等を記した小型（景観の支障にならない程度の大きさ）の表示板を設置する。
- 工事実績情報の登録を行う。
- 工事用水及び工事用電力は、請負者の負担とする。
- 完成図のサイズは（■A1 ■A3 ）とし、提出する図面の種類及び記入内容等は、共通仕様書及び監督職員の指示による。
- 完成図はCADにより作成する。CADデータの提出は（■必要 □不要）とする。
- 工事に伴う安全管理については、関連法規を厳守し万全を期す。
- 施工に先立ち工事共通図書を充分熟読し、工事施工計画書を立案し工事計画会議を行う。
- 現場代理人は設計図書の主旨を充分理解したうえで、工事に携わる全ての作業員に浸透するよう指導する。
- 法令による制限事項等がある場合は、法令の規定の遵守方法について監督職員に指示を受ける。
- 本工事の着工にあたり既設物、地盤高等の確認のため起工測量を行い、その結果を監督職員に報告する。
- 設計図書に疑義が生じた場合又は、書面をもって通知し監督職員と協議（監督職員の指示により設計部門との直接協議する場合を含む。）のうえ、内容を確定する。
- 施工上の納まりまたは取り合い関係で、材料、寸法、取り付け位置、取り付け工法等について軽微な変更および測量誤差に起因する地盤高さ、建物位置、道路、水路、配管等の軽微な変更は、監督職員と協議する。協議の結果は、記録し、監督職員に提出する。なお、これらは、原則として現場処理とする。
- 仕様書および本図書に記載がなくとも、本工事を遂行するうえで当然必要な施工上の事項については、請負者の負担にて処理する。
- 工事範囲内の占用物件等については、埋設状況等を把握し、これらに損傷を与えないように十分に注意して施工する。
- 施工に先立って、既に損傷を受けている箇所の有る場合は現状を調査し、その結果を監督職員に報告する。
- 本工事範囲と既設部分とのすり付けは、なじみ良く仕上げる。
- 本設計図書に記載のない既設物の解体・撤去の際は、写真撮影を行い形状寸法・数量を監督職員に報告し、承諾を得てから解体・撤去を行う。
- 本工事で生ずる発生材は、形状寸法・数量を監督職員に報告し、指示に従って措置する。
- 各種製品、石材、タイル、樹木、その他監督職員の指示する材料は、施工に先だち見本品を提出し承諾を得る。
- 工場製品あるいは現場加工品の色彩については、別途「色彩計画書」による他、図面に明示されていない場合は、監督職員と協議し色彩を確定する。
- コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水の処理については、原則として公園区域外まで搬出し処理することとする。なお、搬出が困難な場合は、その都度処理方法について監督職員と協議し、自然環境に影響を及ぼさないよう処理する。
- 残土、表土等のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
- 掘削土砂等を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、土壌積みやシート掛け等の適切な対策を講じる。
- 廃材処理及び暖をとるためのたき火等は禁止とする。やむを得ず暖をとる必要があるときは、直火以外の方法で周囲の環境に影響を及ぼさないよう行う。
- 常に、資材および作業機械・工具の整理整頓に努めるとともに、吸い殻、ゴミの管理は徹底する。
- 既存測量杭がある場合は、工事中必要に応じて引照点をとるなどして大切に扱う。
- 本工事で使用する植栽樹木について植樹保険に加入し、加入証書の写しを提出する。
- 国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成20年2月）〔以下「基本方針」という。〕において位置づけられた、「特定調達品目」に該当する材料及び建設機械等は、原則として基本方針に定める判断基準を満足するものを使用することとする。
- なお、やむをえず判断基準に満たないものを使用する場合は監督職員の承認を得るものとする。

- 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
- 本工事は「建設副産物情報交換システム」（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時、及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告はシステムにより作成した〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。
- 本工事の施工にあたっては、「建設工事における建設副産物管理マニュアル」のうち「3 施工編」に従い適切な処理に努めるものとする。
- ①間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であり、かつ、それ以外の原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された園における森林に関する法令に照らし合法な木材であること。
- ②①以外の場合は、間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木以外の木材にあたっては、原料として使用される原木はその伐採に当たって生産された園における森林に関する法令に照らし合法な木材であること。
- 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。
- 保存剤の吸収量及び浸潤度は、A0又はJASで定める基準に準拠すること。
- 請負者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。
- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

2. 施設撤去工

- （1） 既存構造物取り壊し・樹木の伐採にあたっては、その範囲・数量・規格を確認し、監督職員の承認を得た後行う。
- （2） 拡張整備地内の伐採は、範囲内のニセアカシアを伐採する。伐採後の処理等は監督職員に指示を受ける。
- （3） 拡張整備地隣接地の北黒沢川沿いの伐採は、拡張整備地内からの見通しをよくするために間伐を行う。間伐する樹木は監督職員と協議の上決定する。伐採後の処理等は監督職員に指示を受ける。
- （4） 既存池の浸潤は、既存池への水の供給を停止し、水位を下げたのちに行う。
- （5） 既存池内に生育する植物の抜き取りを行う。抜き取った植物は一部市民への配布を検討しているため、それらに留意して抜き取りを行う。抜き取った植物を処分する場合は監督職員に指示を受ける。
- （6） 市民参加による既存池の泥の中に生息する生物の保護を想定しているため、それらに協力する。
- （7） 浸潤土は曝気したのち、造成および施設整備に流用する。

3. 敷地造成工

- （1） 工事の着工に際し起工測量を行い、その結果を監督職員に報告する。また、本図面と差異がある場合には、監督職員と協議の上着工する。（図面サイズ： A-1、3 CADデータは拡張子DWG、DXFとする。また、縮尺は監督職員と協議の上決定）
- （2） 休耕田部分の表土は20cm厚で鋤取りを行い、曝気したのち造成および施設整備に流用する。
- （3） 整地工事においては、植栽計画地に対して必要以上の機械出入りは避け、土壌の固結防止を図る。
- （4） 切土工において、軟弱土壌等不良土壌が出現した場合は、監督職員とその措置を協議する。

4. 植栽基盤工

- （1） 客土材・肥料等については、事前にサンプル、資料等を提出し監督員の承認を得ること。
- （2） 客土材の敷き均しにおいては、必要以上に転圧を行わぬよう注意し、土壌の固結防止を図ること。
- （3） 客土材、肥料、土壌改良材等の混合は、均一になるよう充分行うこと。
- （4） 緑化シートの基盤は現場発生土により15cm厚で覆土する。

5. 法面工

- （1） 在来種が多く生育する既存法面の表土を10cm厚で鋤取りを行い、表土とすき取り物に分別する。分別したすき取り物を造成後の法面に10cm厚で貼り付ける。鋤取りを行う範囲については監督職員と協議の上決定する。
- （2） 法勾配変化部等については、監督職員と協議の上適宜ラウンディングを施す。
- （3） 監督職員の指示があった場合は、のり面緑化面の土質調査、試験施工等を実施する。

6. 植栽工

- （1） 植栽材料は全て監督職員立会のもとで、下検査、又は搬入検査を行い、合格したものを使用する。
- （2） 検査に合格した植栽材料は速やかに植栽し、止む終えぬ理由で当日中に植栽出来なかった分については、根の乾燥や枝葉の損傷のないように養生を行い、翌日中には必ず植栽を完了させる。
- （3） 樹木の植栽に際しては、各樹木の形状、樹姿等を確かめ周囲の状況を考慮して、見栄え良く植え込む事。又、支柱の向きについても同様に注意し施工する。
- （4） 主要樹木（園路沿い、景観木等）の植栽については、植栽位置、樹木の向き、傾き等、監督職員の指示に従って施工する。
- （5） 支柱工については、植栽当日中に行う事を原則として施工計画をたてる。
- （6） 植穴の掘削に際しては埋設管等地下構造物を調査した後行う。また、湧水、帯水、障害物等、樹木の育成を阻害する土壌状態が発見された場合は、監督職員と協議し適切な措置を施す。
- （7） 高木は樹高の60%以上幹巻きを行う事。
- （8） 低木植込みの端部は、下枝が上がらない様に全面の一例はやや前側に傾けて植え付ける。
- （9） 客土材、肥料等については事前に見本品を提出し、監督員の承認を得る事。
- （10） 表土ブロック移植の範囲は監督職員と協議の上決定する。

7. 給水設備工

- （1） 給水引き込み位置、水量器設置位置については、監督員の指示、承認を得ること。
- （2） 給水工掘削において、湧水が確認された場合は監督員に報告し、指示を受けること。
- （3） 埋設杭の設置場所については、監督員の承認を得ること。

8. 雨水排水設備工

- （1） 周辺施設の高さと調整し、滞水等のないよう仕上げる。
- （2） 各樹等のIN、OUT等については、施工図を作成し監督職員の承認を得るものとする。
- （3） 樹・側溝等の埋め戻しの際には、不等沈下等が起こらないよう充分転圧を行うものとする。

9. 電気設備工

- （1） 給電工引込位置、分電盤設置位置については、監督職員の指示、承認を得るものとする。
- （2） 給電工掘削において、湧水が確認された場合は監督職員に報告し、指示を受けるものとする。
- （3） ハンドホールを設けて無い端部の電線管については、地上部に立ち上げキャップ止めとする。
- （4） 埋設杭の設置場所については、監督職員の承認を得るものとする。

10. 園路広場整備工

- （1） 路床の支持力が弱いと思われる部分については、監督職員と協議を行うものとする。
- （2） 舗装の目地割り等については、設計図に基づき割付図を作成し、監督職員の承認を得るものとする。
- （3） 舗装材の色等は、事前にサンプルを提出し、監督職員の承認を得るものとする。
- （4） 舗装仕上げ高及び勾配を調整し、雨水滞水等が無いよう仕上げる。
- （5） 土系舗装については、小規模で試験施工を行い監督職員の承認を得たのち本施工を行うものとする。

11. 親水施設整備工

- （1） 石材等については、事前にサンプルを提出し、監督職員の承認を得るものとする。
- （2） 流れ・落差工の工事にあたっては、各ポイントの高さに充分注意し、滞水、漏水のないよう仕上げる。

12. サービス施設整備工

- （1） 水飲み場の設置にあたっては、給水設備工と充分調整を行う。
- （2） サイン等の記入内容・色等については、サンプルを提示し監督職員の承認を得るものとする。

13. 管理施設整備工

- （1） 車止め、門扉等の位置については、監職職員と協議し承認を得るものとする。
- （2） 柵（ガードレール）の色については、サンプルを提出し監督職員の承認を得るものとする。
- （3） フェンス、防球ネット等の施工にあつては、施工図を作成し監督職員の承認を得るものとする。

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	/	特記仕様書	縮尺	
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

Y=27500.000

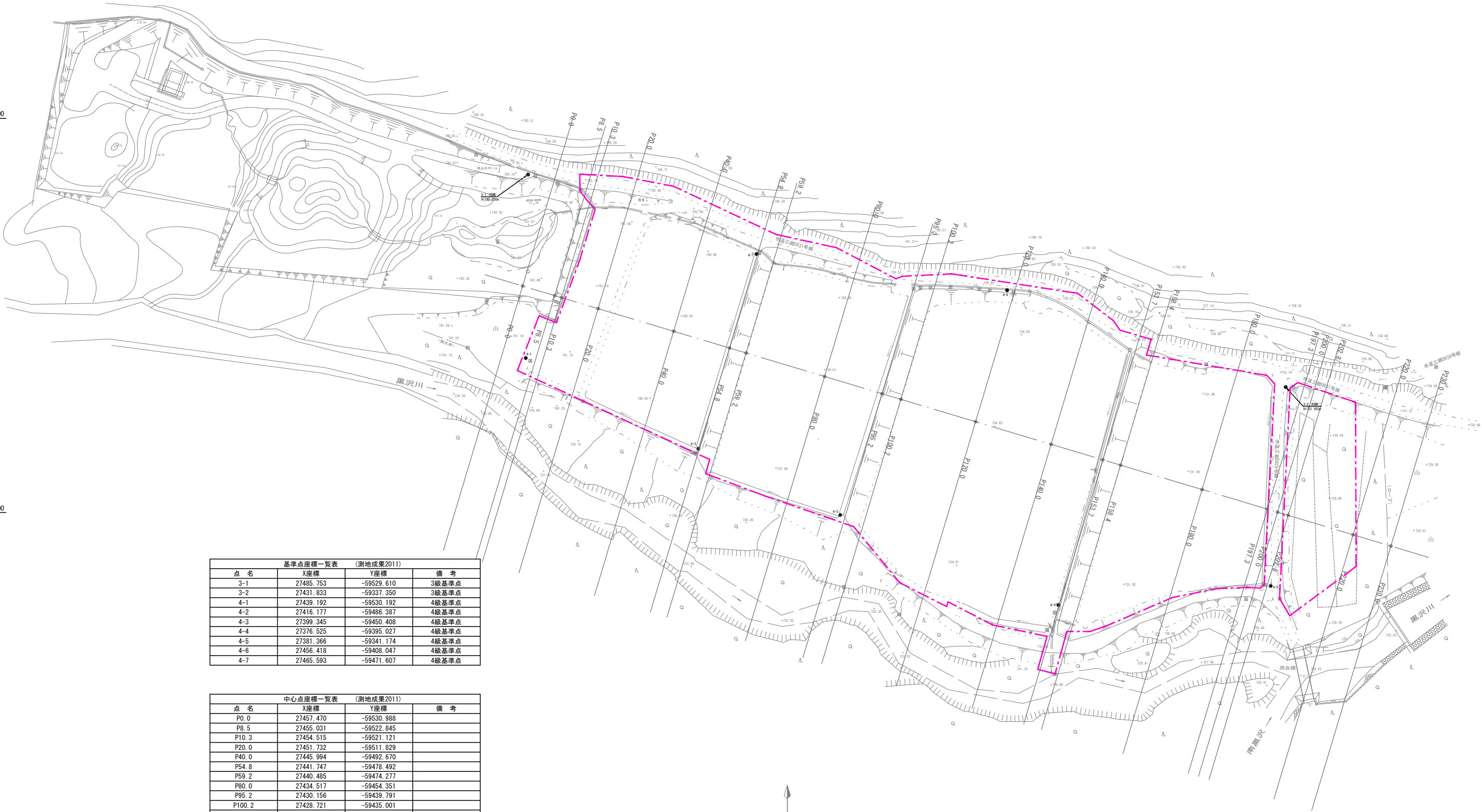
X=27500.000

Y=27400.000

X=27400.000

Y=27300.000

X=27300.000



基準点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
3-1	27485.753	-59529.610	3級基準点
3-2	27431.833	-59337.350	3級基準点
4-1	27439.192	-59530.192	4級基準点
4-2	27416.177	-59486.387	4級基準点
4-3	27399.345	-59450.408	4級基準点
4-4	27376.525	-59395.027	4級基準点
4-5	27381.366	-59341.174	4級基準点
4-6	27456.418	-59408.047	4級基準点
4-7	27465.593	-59471.607	4級基準点

中心点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
P0.0	27457.470	-59530.988	
P8.5	27455.031	-59522.845	
P10.3	27454.515	-59521.121	
P20.0	27451.732	-59511.829	
P40.0	27445.994	-59492.670	
P54.8	27441.747	-59478.492	
P59.2	27440.485	-59474.277	
P80.0	27434.517	-59454.351	
P95.2	27430.156	-59439.791	
P100.2	27428.721	-59435.001	
P120.0	27423.040	-59416.033	
P140.0	27417.302	-59396.874	
P153.7	27413.371	-59383.750	
P158.4	27412.023	-59379.248	
P180.0	27405.826	-59358.556	
P197.3	27400.862	-59341.983	
P200.0	27400.087	-59339.397	
P202.8	27399.284	-59336.714	
P220.0	27394.349	-59320.238	
P230.0	27391.480	-59310.658	

凡 例	
表記	境界標等の種類
◎	基準点
○	中心杭
□	白色ブラ杭
□	青色ブラ杭
□	赤色ブラ杭
①	その他の基準点



公園計画区域

令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事			
番号	1 / 33	現況図	縮尺 1:500 (A1)
黒沢洞合自然公園			
安曇野市 三郷小倉			
部長	課長	係長	担当
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 教育部 子育て家庭支援課			

仮設図 A1 : 1/500, A3 : 1/1000

総括表

名 称	数 量	単 位	摘 要
敷鉄板 1524×3048	613.2	m2	仮設駐車場
砕石舗装 t100	227.1	m2	仮設通路 W1.2m

Y=27500.000

X=27500.000

Y=27400.000

X=27400.000

Y=27300.000

基準点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
3-1	27485.753	-59529.610	3級基準点
3-2	27431.833	-59337.350	3級基準点
4-1	27439.192	-59530.192	4級基準点
4-2	27416.177	-59486.387	4級基準点
4-3	27399.345	-59450.408	4級基準点
4-4	27376.525	-59395.027	4級基準点
4-5	27381.366	-59341.174	4級基準点
4-6	27456.418	-59408.047	4級基準点
4-7	27465.593	-59471.607	4級基準点

中心点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
P0.0	27457.470	-59530.988	
P8.5	27455.031	-59522.845	
P10.3	27454.515	-59521.121	
P20.0	27451.732	-59511.829	
P40.0	27445.994	-59492.670	
P54.8	27441.747	-59478.492	
P59.2	27440.485	-59474.277	
P80.0	27434.517	-59454.351	
P95.2	27430.156	-59439.791	
P100.2	27428.721	-59435.001	
P120.0	27423.040	-59416.033	
P140.0	27417.302	-59396.874	
P153.7	27413.371	-59383.750	
P158.4	27412.023	-59379.248	
P180.0	27405.826	-59358.556	
P197.3	27400.862	-59341.983	
P200.0	27400.087	-59339.397	
P202.8	27399.284	-59336.714	
P220.0	27394.349	-59320.238	
P230.0	27391.480	-59310.658	

凡 例

表記	境界線等の種類
◎	基準点
○	中心杭
□	白色ブラ杭
□	青色ブラ杭
□	赤色ブラ杭
①	その他の基準点

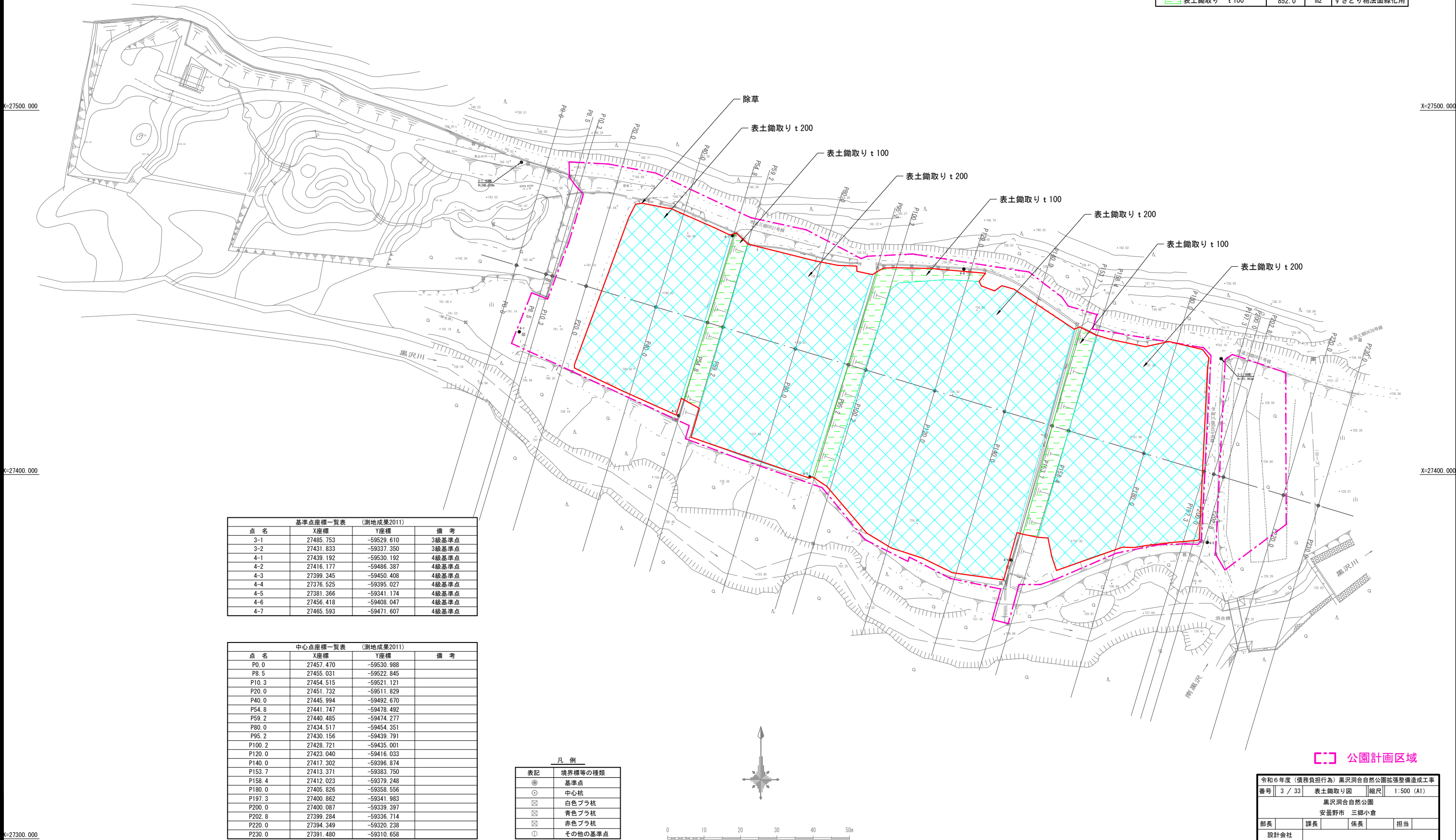


公園計画区域

令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	2 / 33	仮設図	縮尺	1:500 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社	000			
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子育て家庭支援課				

総括表

名 称	数 量	単 位	摘 要
除草	10500.0	m2	
表土鋤取り t 200	9500.0	m2	
表土鋤取り t 100	852.0	m2	すきとり物法面緑化用



基準点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
3-1	27485.753	-59529.610	3級基準点
3-2	27431.833	-59337.350	3級基準点
4-1	27439.192	-59530.192	4級基準点
4-2	27416.177	-59486.387	4級基準点
4-3	27399.345	-59450.408	4級基準点
4-4	27376.525	-59395.027	4級基準点
4-5	27381.366	-59341.174	4級基準点
4-6	27456.418	-59408.047	4級基準点
4-7	27465.593	-59471.607	4級基準点

中心点座標一覧表 (測地成果2011)			
点 名	X座標	Y座標	備 考
P0.0	27457.470	-59530.988	
P8.5	27455.031	-59522.845	
P10.3	27454.515	-59521.121	
P20.0	27451.732	-59511.829	
P40.0	27445.994	-59492.670	
P54.8	27441.747	-59478.492	
P59.2	27440.485	-59474.277	
P80.0	27434.517	-59454.351	
P95.2	27430.156	-59439.791	
P100.2	27428.721	-59435.001	
P120.0	27423.040	-59416.033	
P140.0	27417.302	-59396.874	
P153.7	27413.371	-59383.750	
P158.4	27412.023	-59379.248	
P180.0	27405.826	-59358.556	
P197.3	27400.862	-59341.983	
P200.0	27400.087	-59339.397	
P202.8	27399.284	-59336.714	
P220.0	27394.349	-59320.238	
P230.0	27391.480	-59310.658	

凡 例

表記	境界線等の種類
◎	基準点
○	中心杭
□	白色ブラ杭
□	青色ブラ杭
□	赤色ブラ杭
①	その他の基準点

公園計画区域

令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事			
番号	3 / 33	表土鋤取り図	縮尺 1:500 (A1)
黒沢洞合自然公園			
安曇野市 三郷小倉			
部長	課長	保長	担当
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 教育部 子育て家庭支援課			

撤去平面図 A1 : 1/400, A3 : 1/800

■ 数量表					
種別	細別	規格・寸法	数量	単位	摘要
構造物取壊し工	畦畔ブロック撤去		363.5	m	
排水構造物撤去工	HP φ250撤去		3.6	m	
	HP φ300撤去		38.2	m	
	VU φ200撤去		9.5	m	
	集水樹-1撤去	ゲレーチング 蓋撤去共	3.0	基	
	集水樹-2撤去		1.0	基	
	集水樹-3撤去		1.0	基	
	BF200撤去		35.0	m	
	BF250撤去		57.3	m	
	BF250コンクリト蓋撤去		4.1	m	4枚
	BF300撤去		27.7	m	
	BF400撤去		99.9	m	
	BF400コンクリト蓋撤去		4.2	m	4枚
伐採工	拡張整備地内伐採		780.0	m2	ニセアカシア
	北黒沢川沿い伐採		1660	m2	間伐

X=27500.000

Y=59500.000

Y=59400.000

X=27400.000

X=27400.000

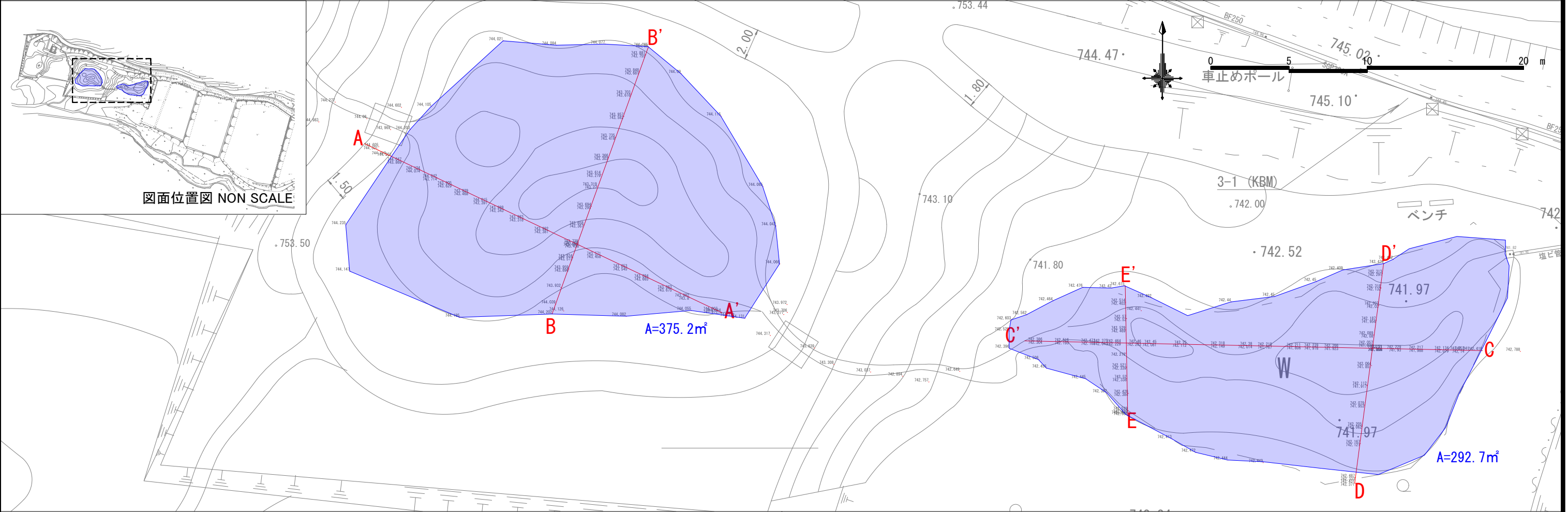
北黒沢川沿い伐採
幹周30未満 32本
幹周30以上60未満 32本
幹周60以上90未満 32本
幹周90以上120未満 32本
幹周120以上150未満 8本

拡張整備地内伐採
幹周60以上90未満 20本
幹周90以上120未満 20本

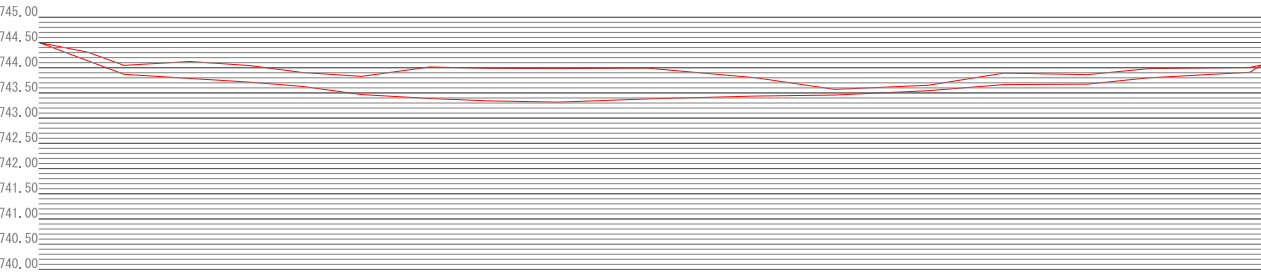
公園計画区域

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	4 / 33	撤去平面図	縮尺	1:400 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

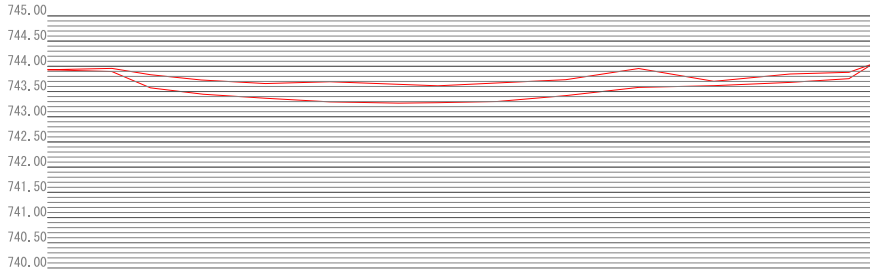
堆積土浚渫平面図 A1 : 1/125, A3 : 1/250



A-A' 断面図 A1 : 1/75, A3 : 1/150



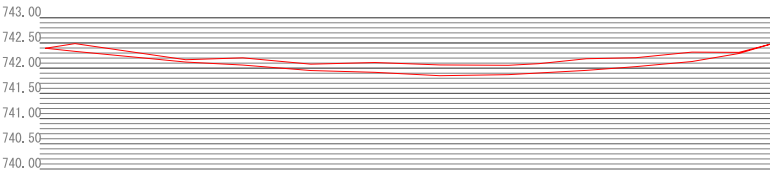
B-B' 断面図 A1 : 1/75, A3 : 1/150



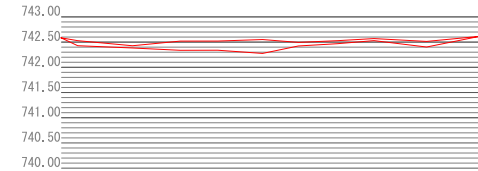
C-C' 断面図 A1 : 1/75, A3 : 1/150



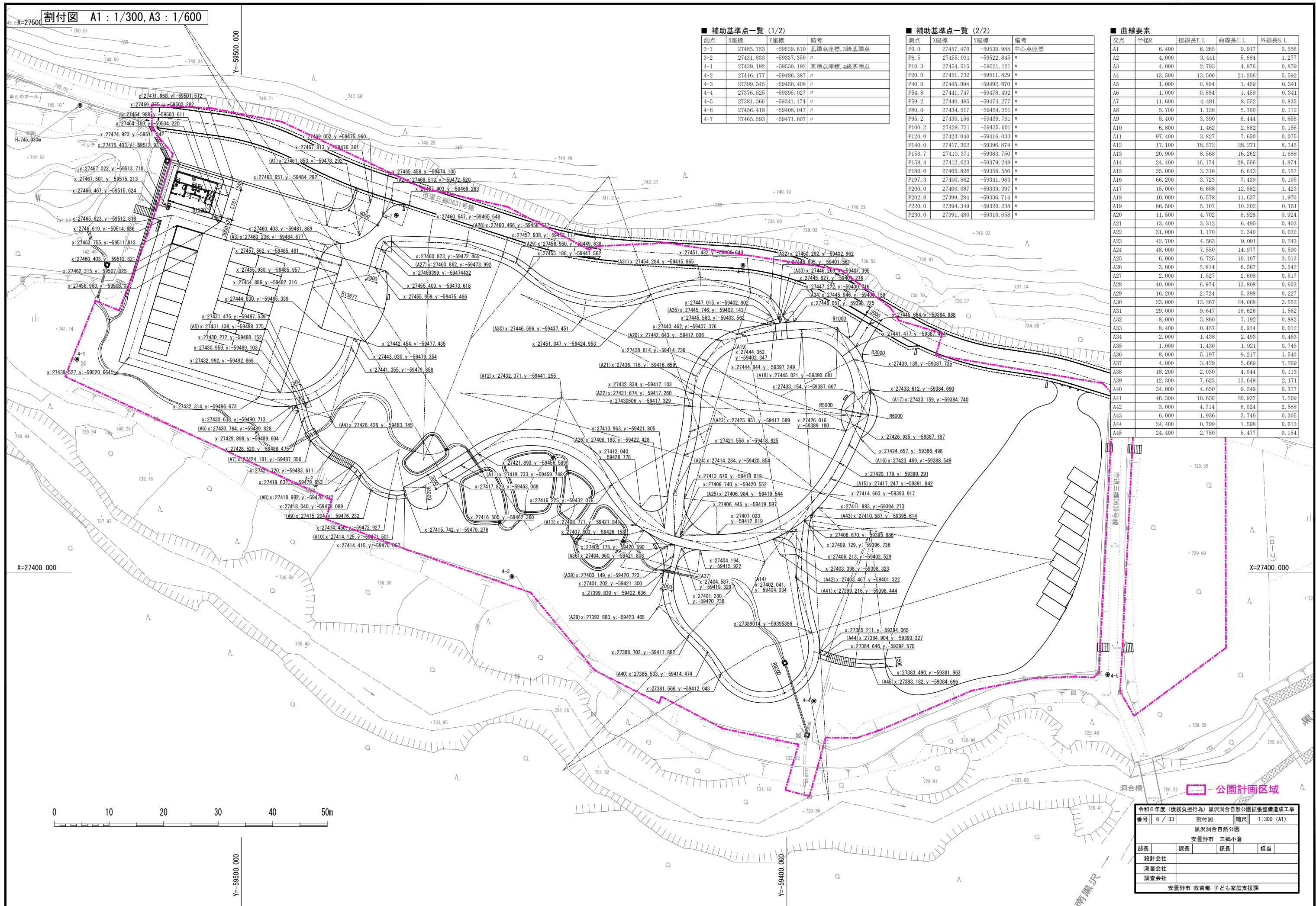
D-D' 断面図 A1 : 1/75, A3 : 1/150



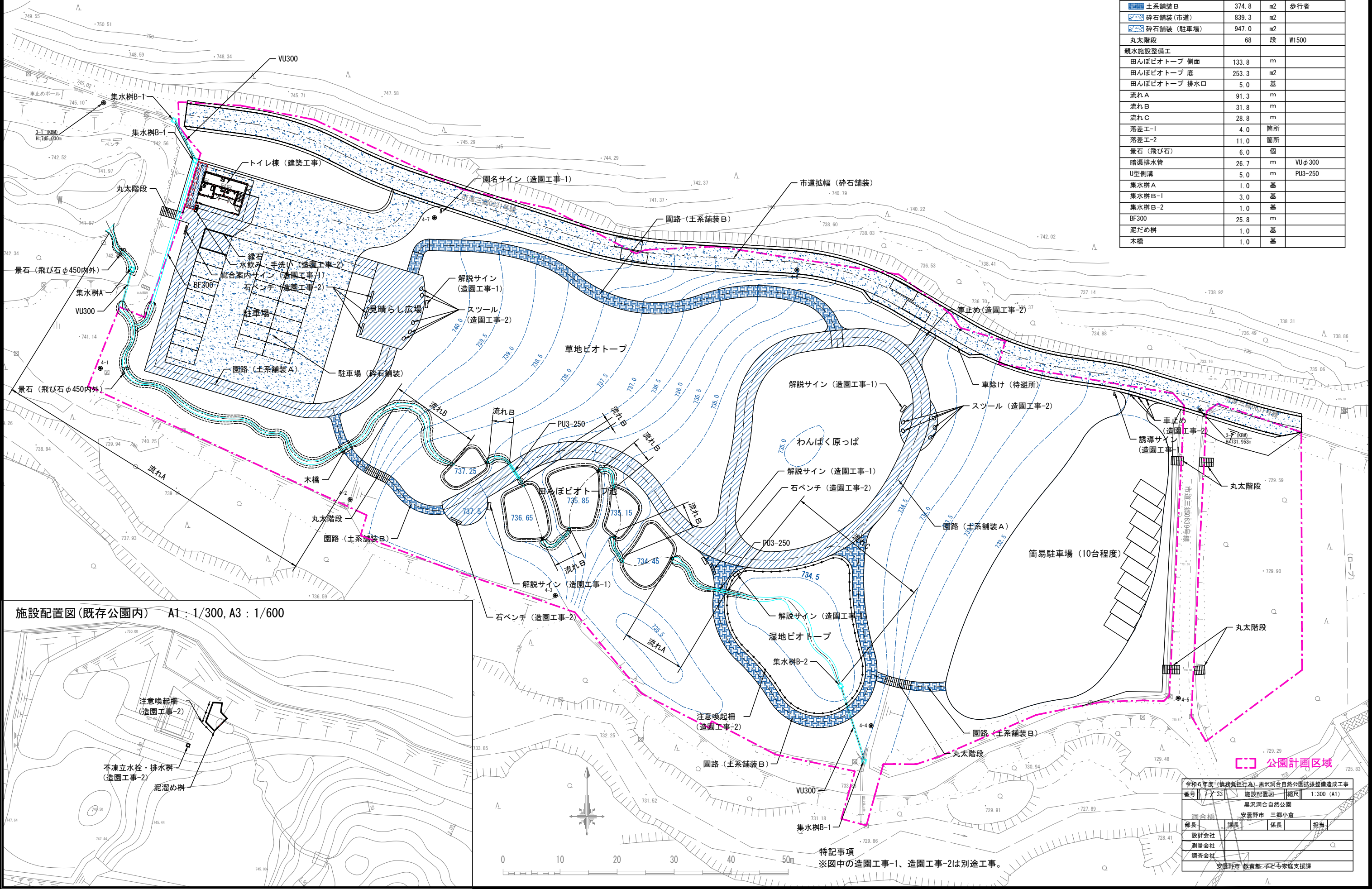
E-E' 断面図 A1 : 1/75, A3 : 1/150



令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	5 / 33	堆積土浚渫図	縮尺	図示
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

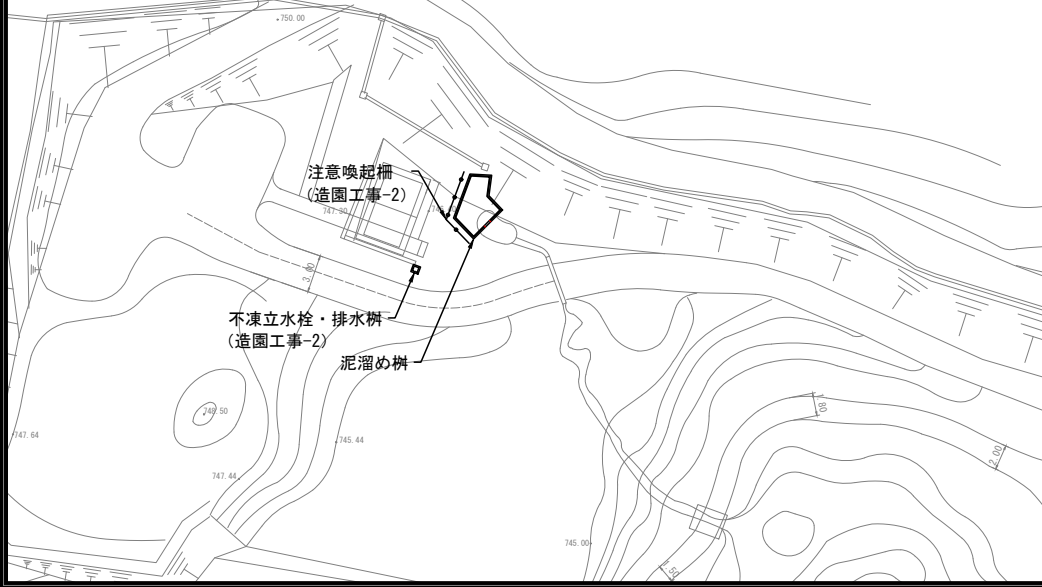


施設配置図 A1 : 1/300, A3 : 1/600



総 括 表			
名 称	数 量	単 位	摘 要
園路広場整備工			
土系舗装 A	980.4	m2	管理車両対応
土系舗装 B	374.8	m2	歩行者
砕石舗装(市道)	839.3	m2	
砕石舗装(駐車場)	947.0	m2	
丸太階段	68	段	W1500
親水施設整備工			
田んぼビオトープ 側面	133.8	m	
田んぼビオトープ 底	253.3	m2	
田んぼビオトープ 排水口	5.0	基	
流れ A	91.3	m	
流れ B	31.8	m	
流れ C	28.8	m	
落差工-1	4.0	箇所	
落差工-2	11.0	箇所	
景石(飛び石)	6.0	個	
暗渠排水管	26.7	m	VUφ300
U型側溝	5.0	m	PU3-250
集水樹 A	1.0	基	
集水樹 B-1	3.0	基	
集水樹 B-2	1.0	基	
BF300	25.8	m	
泥だめ樹	1.0	基	
木橋	1.0	基	

施設配置図(既存公園内) A1 : 1/300, A3 : 1/600

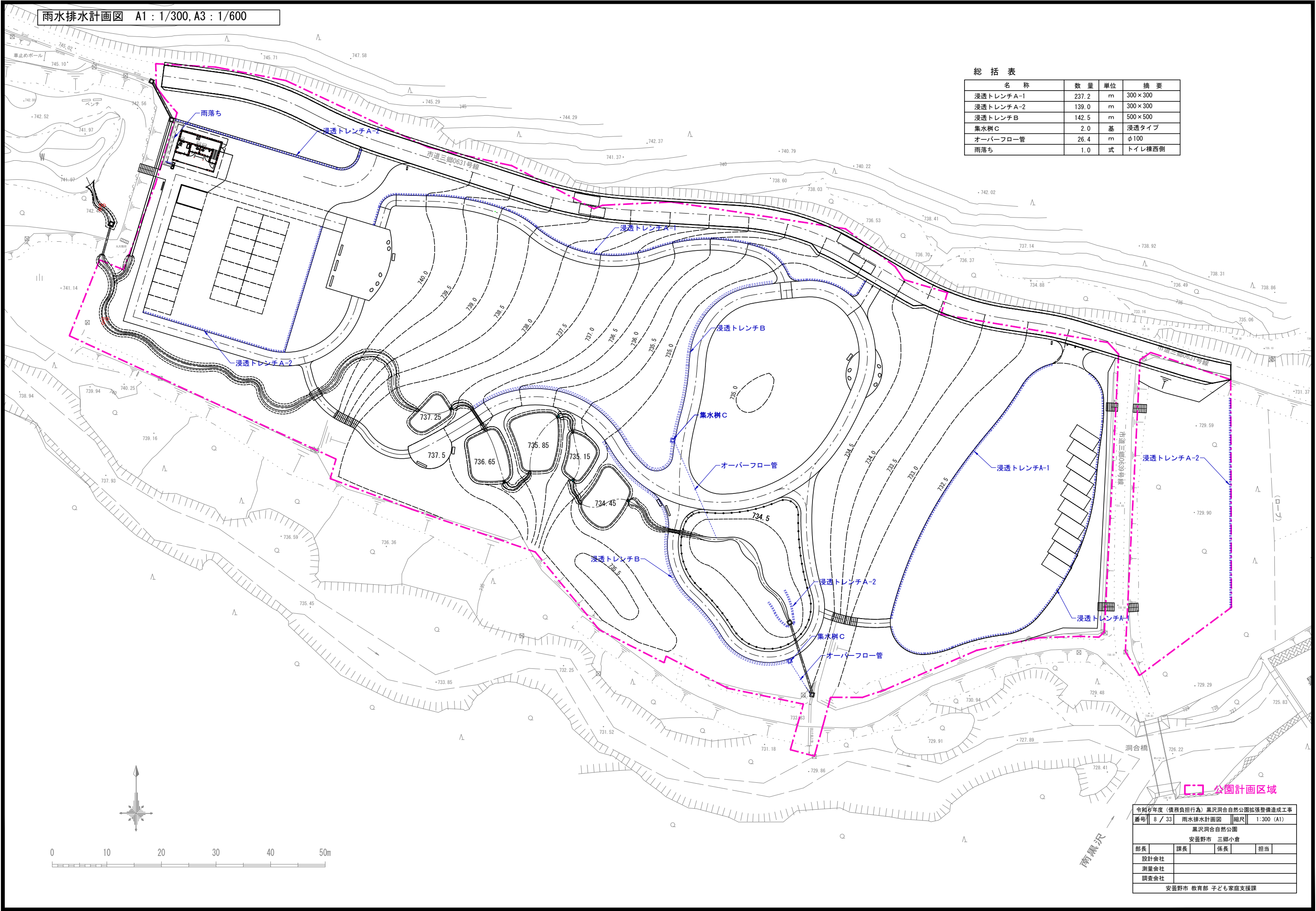


特記事項
※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事			
番号	7/33	施設配置図	縮尺 1:300 (A1)
黒沢洞合自然公園			
洞合橋	安曇野市 三郷小倉		
部長	課長	係長	担当
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 教育課・子ども家庭支援課			

総括表

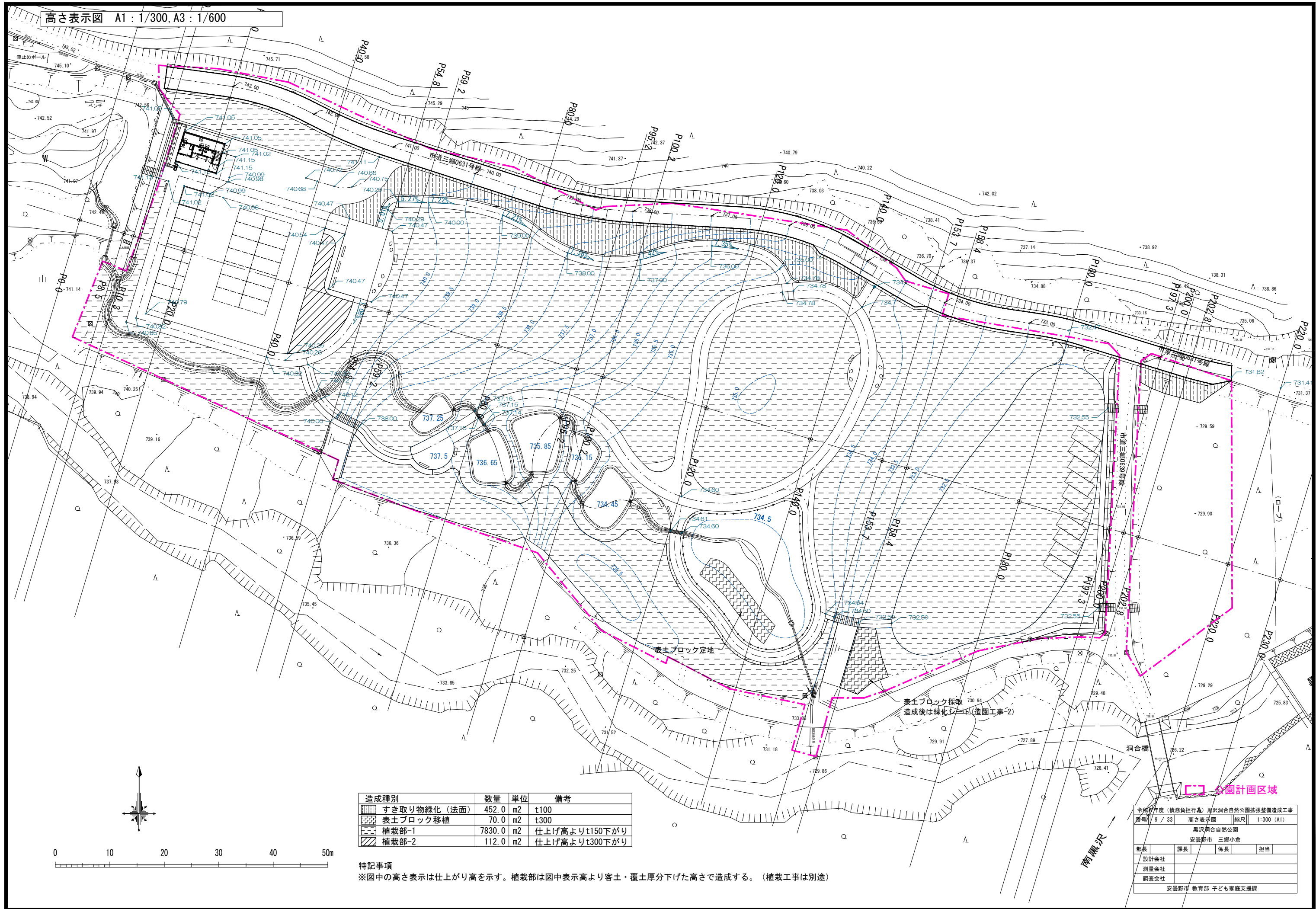
名称	数量	単位	摘要
浸透トレンチA-1	237.2	m	300×300
浸透トレンチA-2	139.0	m	300×300
浸透トレンチB	142.5	m	500×500
集水樹C	2.0	基	浸透タイプ
オーバーフロー管	26.4	m	φ100
雨落ち	1.0	式	トイレ棟西側



公園計画区域

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事			
番号	8 / 33	雨水排水計画図	縮尺 1:300 (A1)
黒沢洞合自然公園			
安曇野市 三郷小倉			
部長	課長	係長	担当
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課			

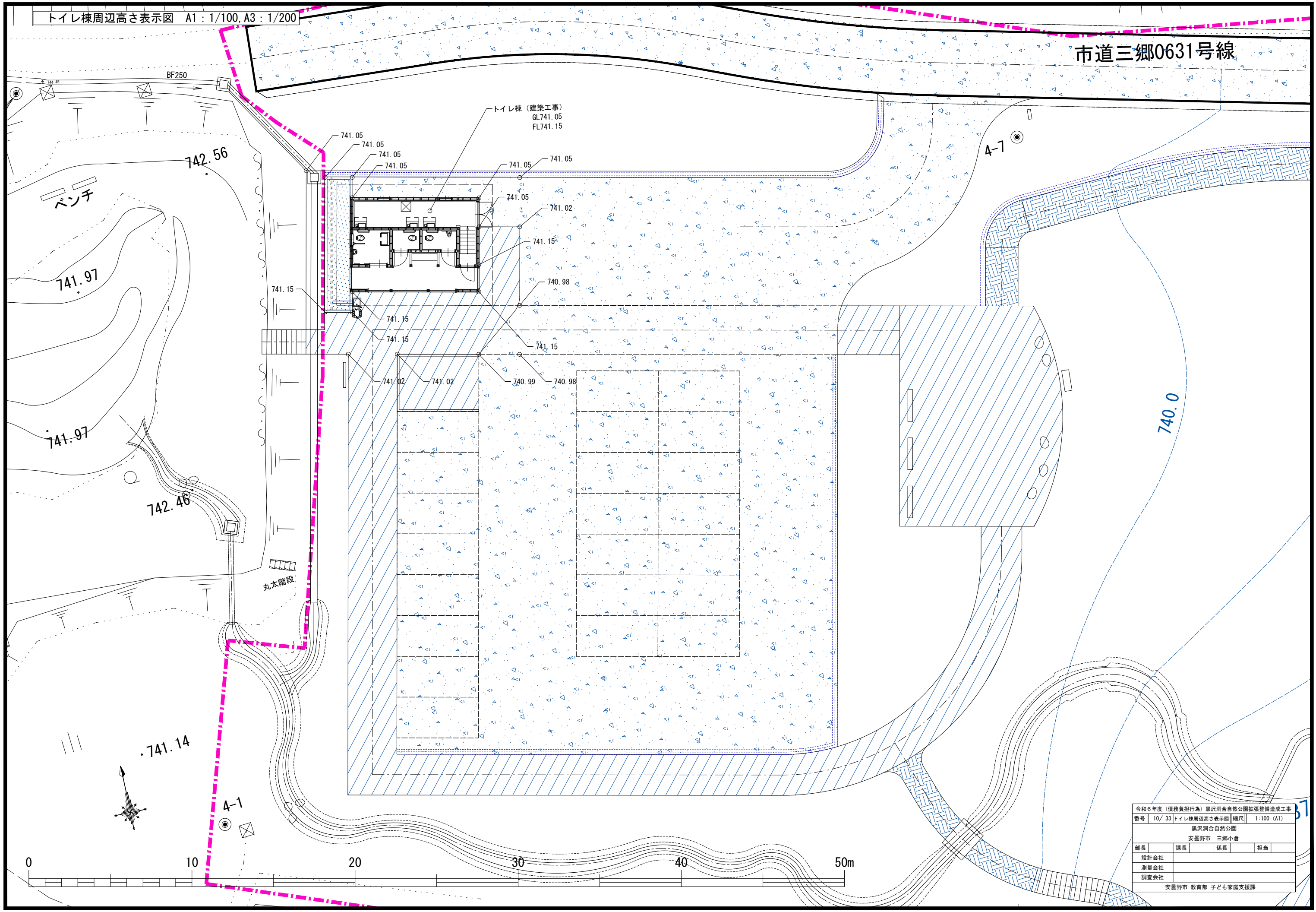
高さ表示図 A1 : 1/300, A3 : 1/600



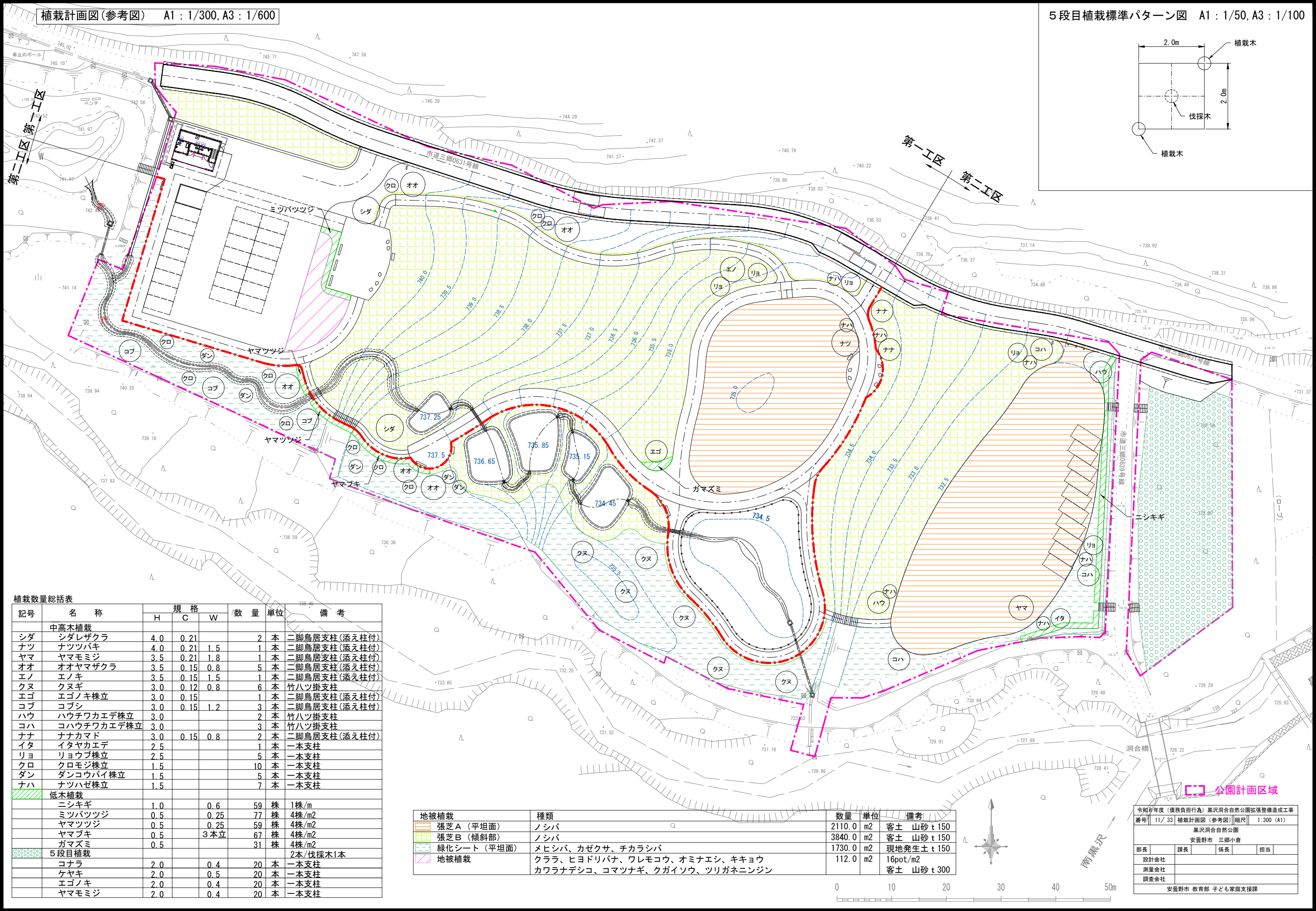
造成種別	数量	単位	備考
すき取り物緑化 (法面)	452.0	m2	t100
表土ブロック移植	70.0	m2	t300
植栽部-1	7830.0	m2	仕上げ高よりt150下がり
植栽部-2	112.0	m2	仕上げ高よりt300下がり

特記事項
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。(植栽工事は別途)

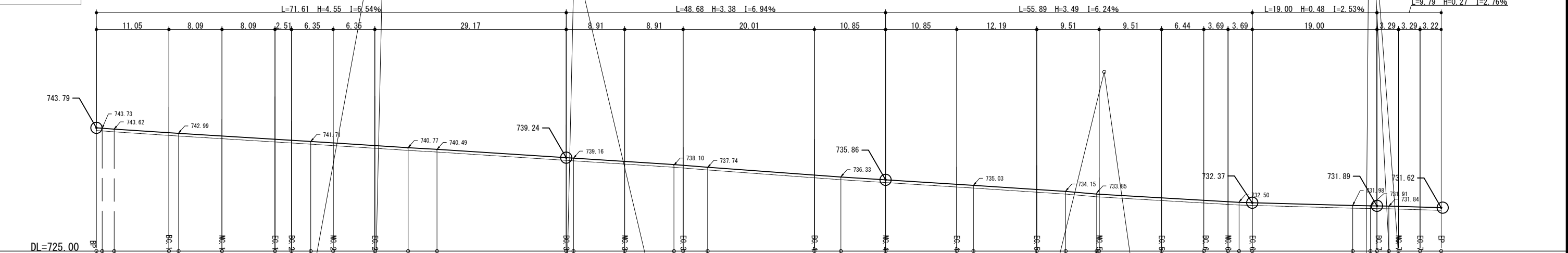
令和7年度(債務負担行為)黒沢洞自然公園拡張整備造成工事			
番号	9 / 33	高さ表示図	縮尺 1:300 (A1)
黒沢洞自然公園			
安曇野市 三郷小倉			
部長	課長	係長	担当
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課			



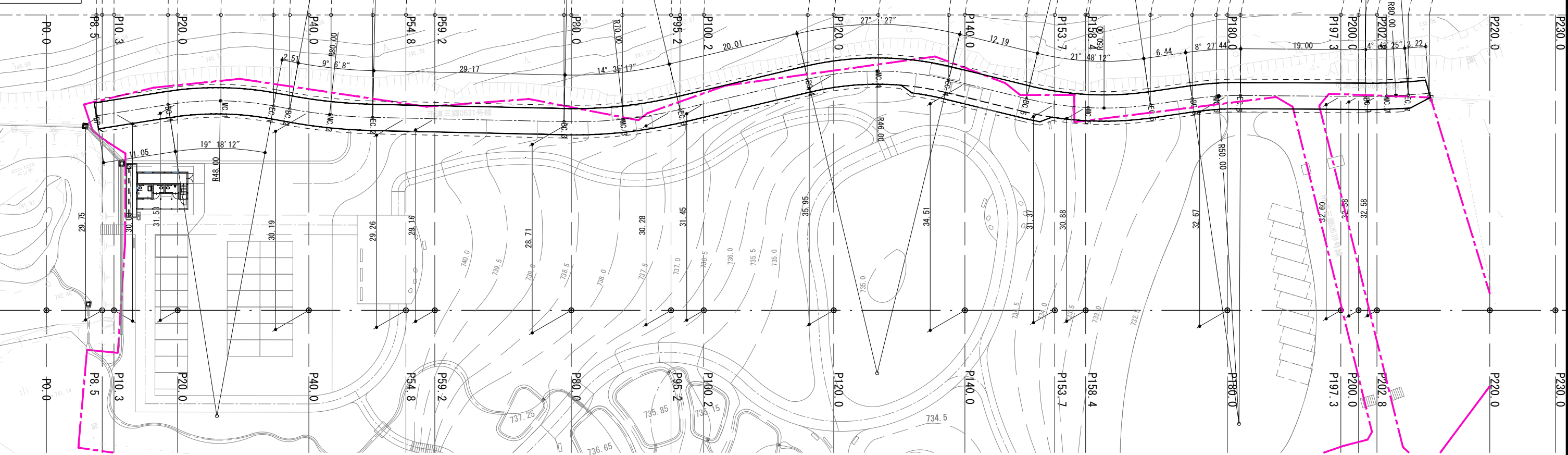
令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	10/33	トイレ棟周辺高さ表示図	縮尺	1:100 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				



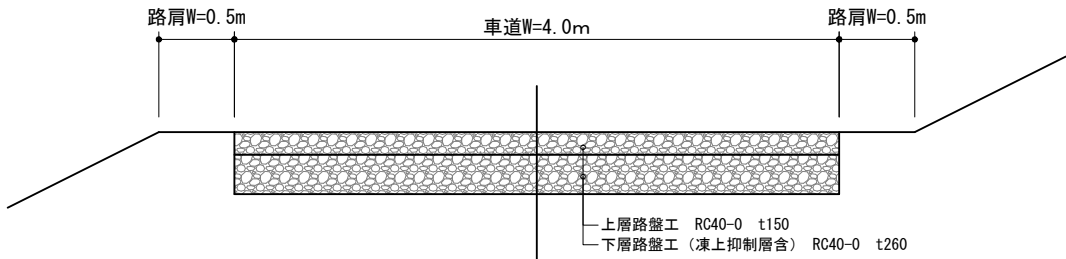
市道縦断面図



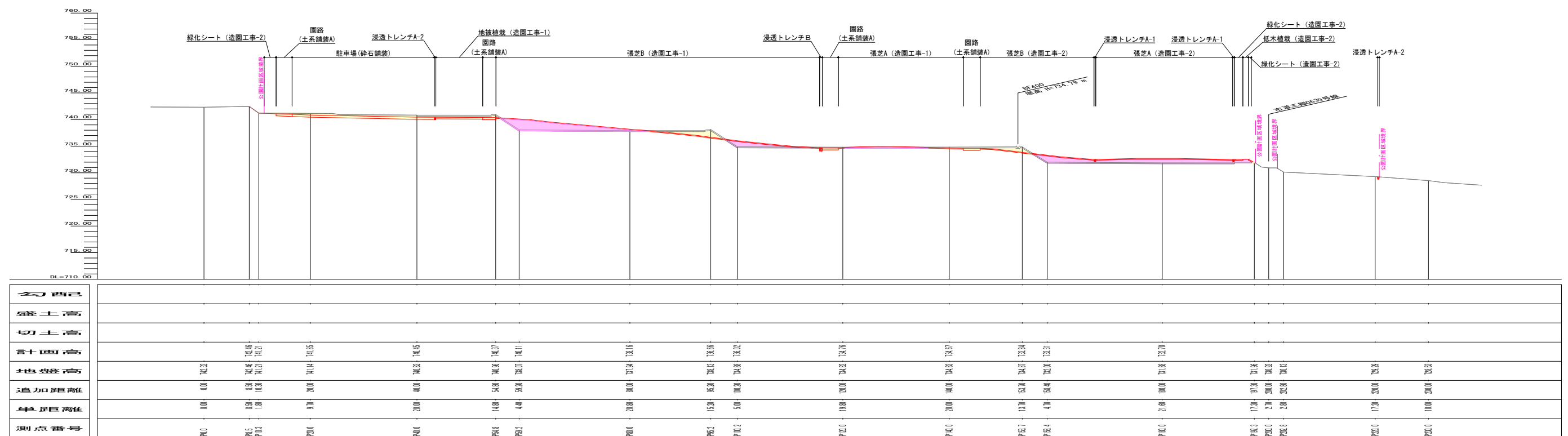
市道平面図



標準断面図 S=1:25 (50)



令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	12/ 38	市道詳細図	縮尺	1 : 300 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				



特記事項

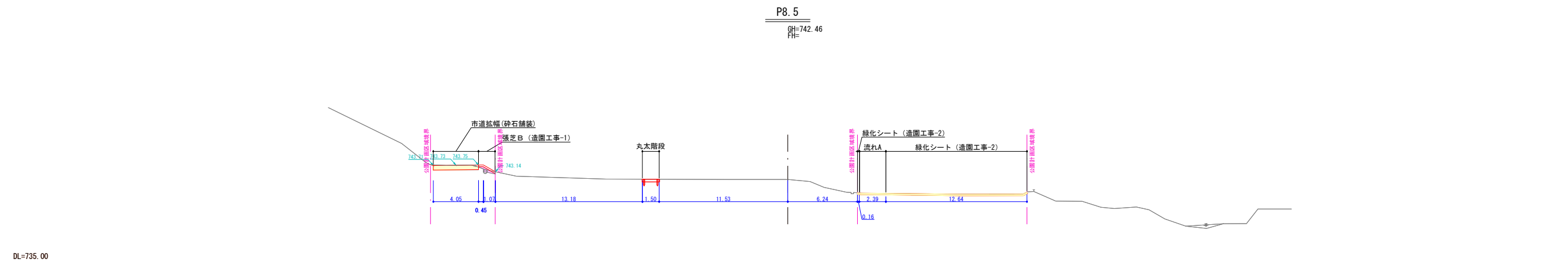
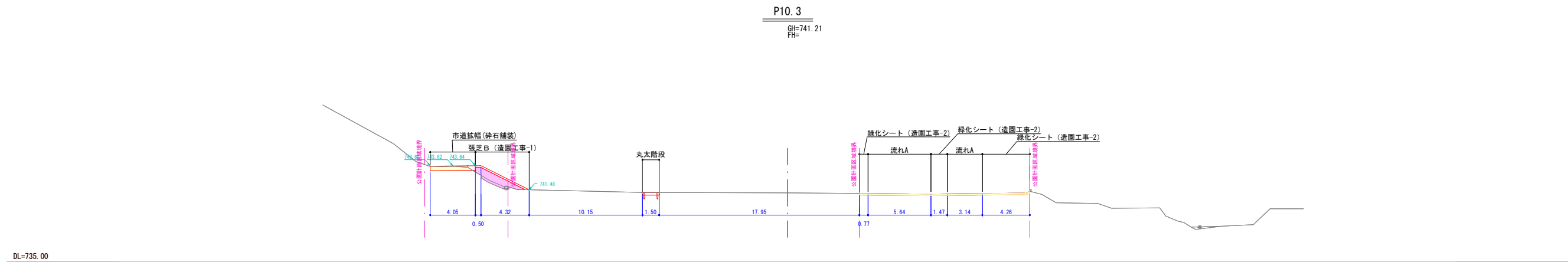
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。

※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度(係務負担行為) 黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	13/ 33	全体縦断図	縮尺	1:400 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

横断図-1 A1 : 1/200, A3 : 1/400



特記事項

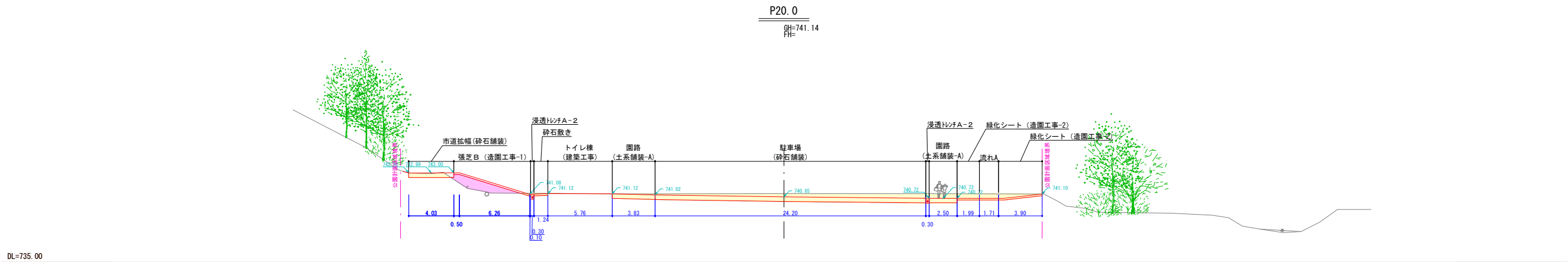
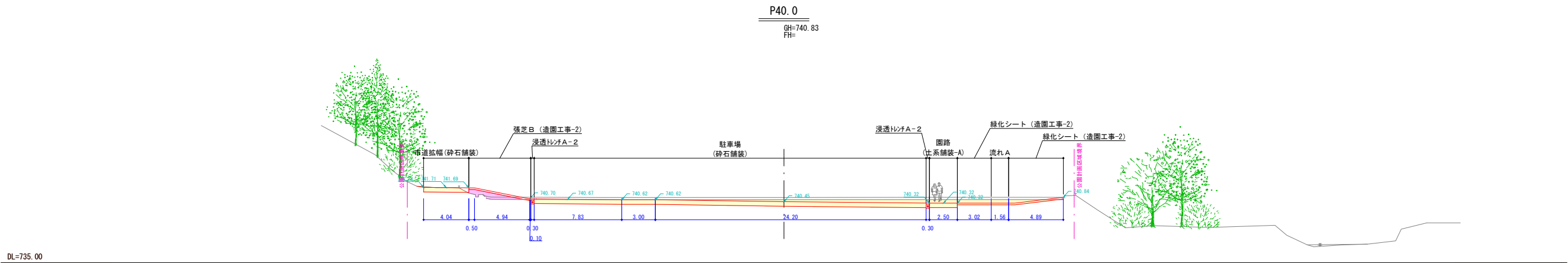
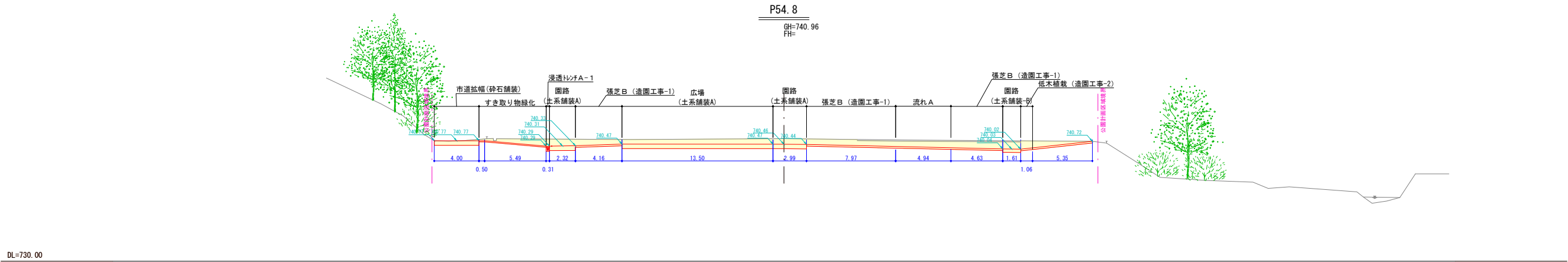
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。

※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	14/ 33	横断図-1	縮尺	1:200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

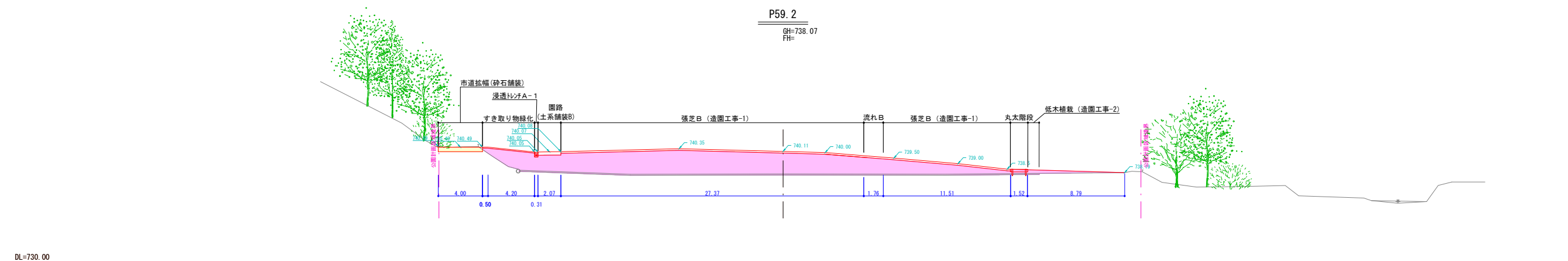
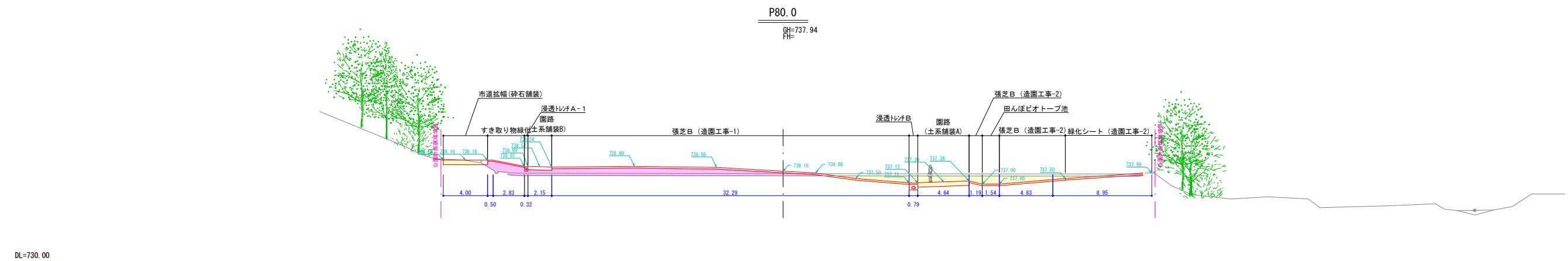
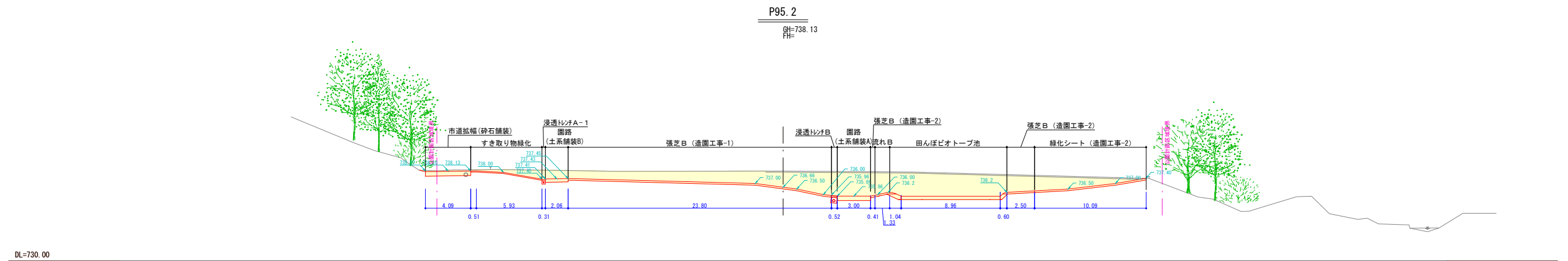
横断図-2 A1 : 1/200, A3 : 1/400



特記事項
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。
※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事					
番号	15/ 33	横断図-2	縮尺	1 : 200 (A1)	
黒沢洞合自然公園					
安曇野市 三郷小倉					
部長		課長		係長	担当
設計会社					
測量会社					
調査会社					
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課					



特記事項

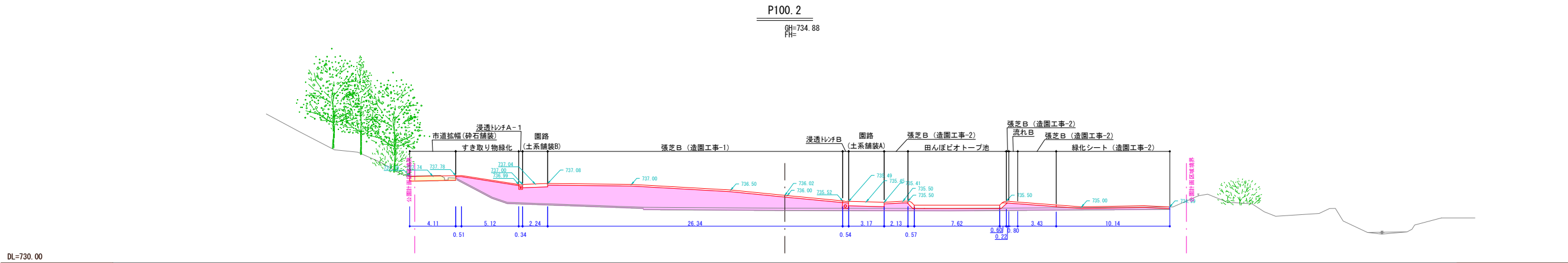
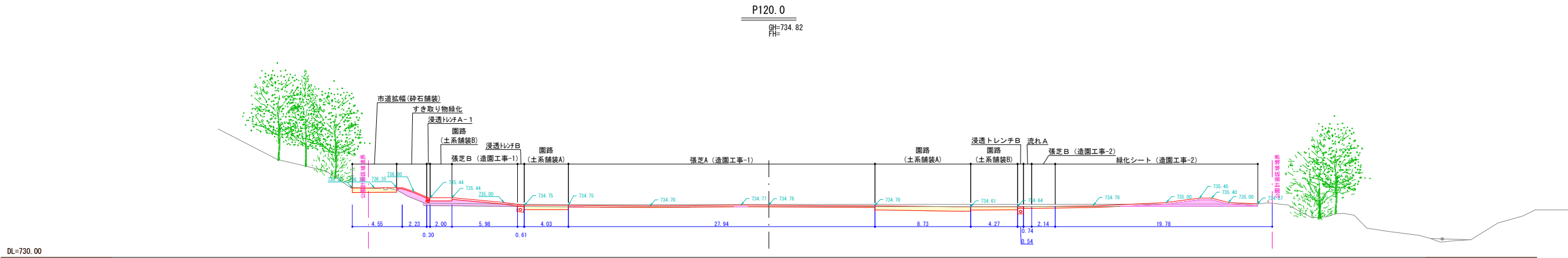
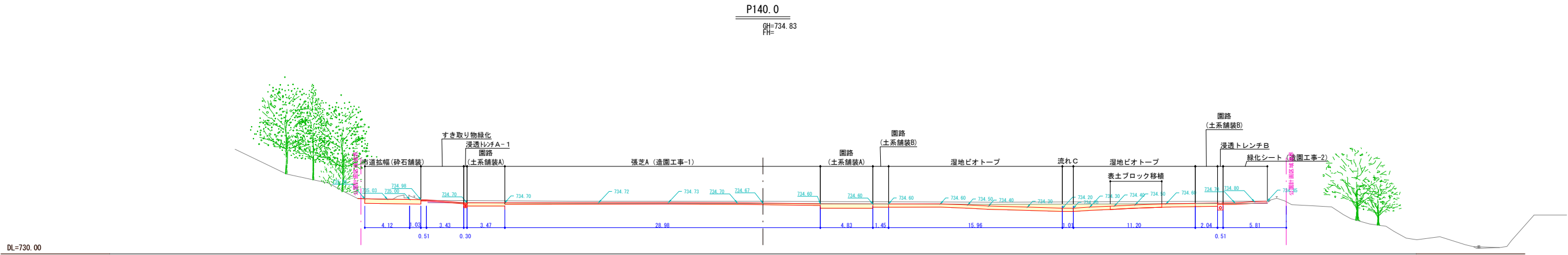
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。

※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	16 / 33	横断面-3	縮尺	1 : 200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

横断面図-4 A1 : 1/200, A3 : 1/400

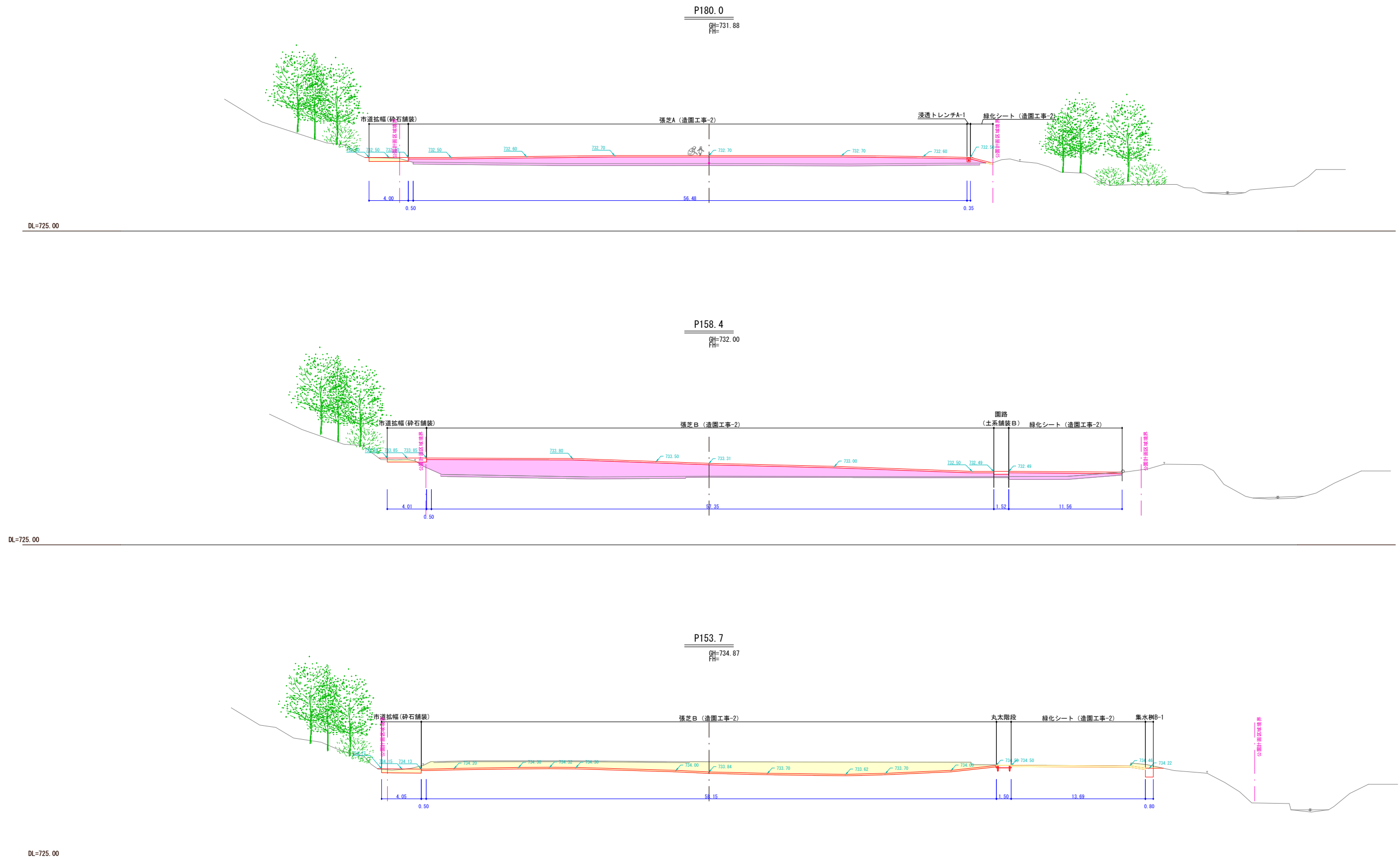


特記事項
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。
※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	17/ 33	横断面図-4	縮尺	1 : 200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

横断図-5 A1 : 1/200, A3 : 1/400



特記事項

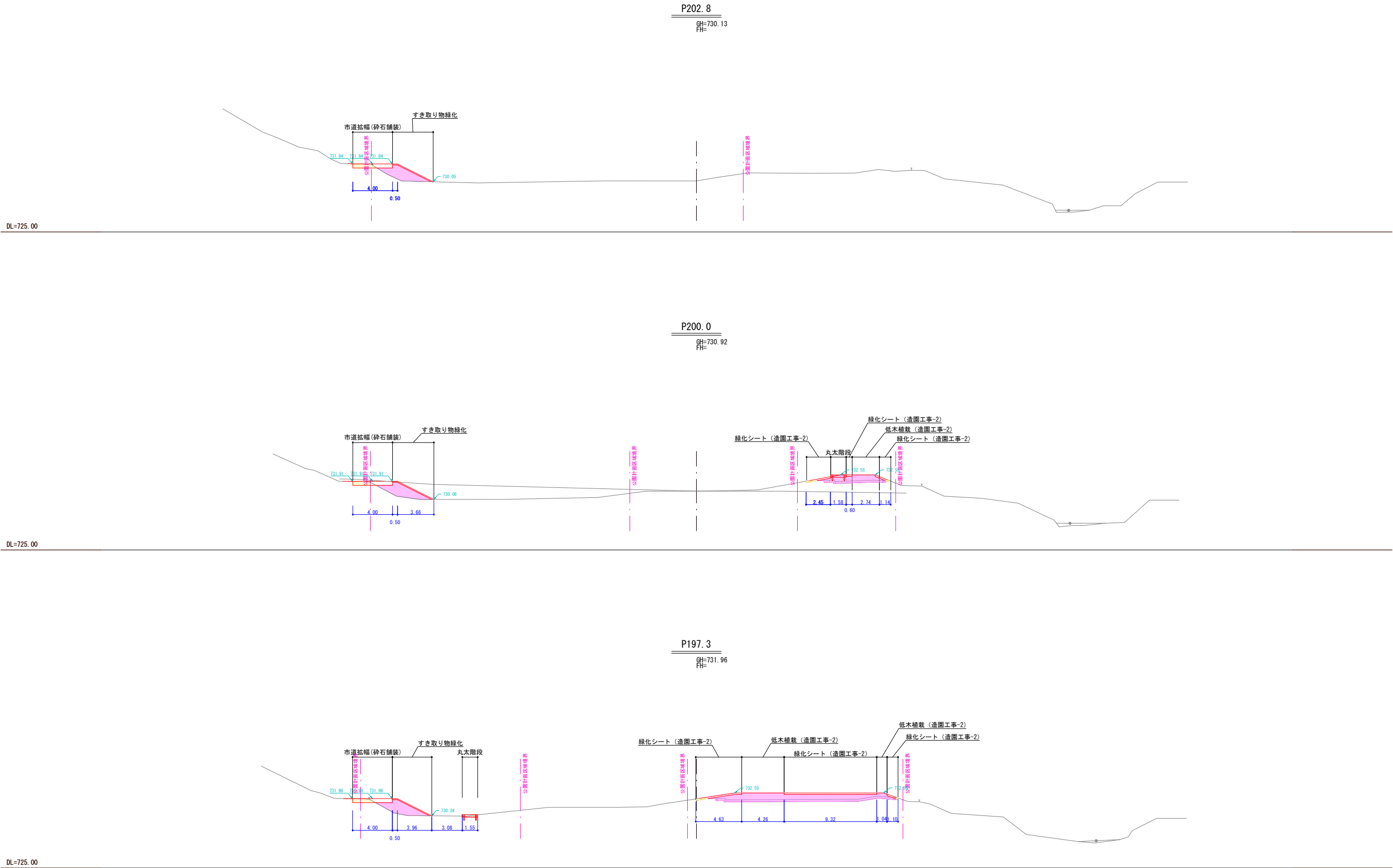
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。

※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	18/ 33	横断図-5	縮尺	1 : 200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

横断図-6 A1 : 1/200, A3 : 1/400



特記事項
※図中の高さ表示は仕上がり高を示す。植栽部は図中表示高より客土・覆土厚分下げた高さで造成する。
※図中の造園工事-1、造園工事-2は別途工事。

盛土
切土

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事					
番号	19/ 33	横断図-6	縮尺	1：200（A1）	
黒沢洞合自然公園					
安曇野市 三郷小倉					
部長		課長		係長	担当
設計会社					
測量会社					
調査会社					
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課					

横断図-7 A1 : 1/200, A3 : 1/400

DL=725.00

P230.0
P220.0

黒沢洞合自然公園

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	20/ 33	横断図-7	縮尺	1 : 200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	20/33	横断図-7	縮尺	1:200 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

流れ割付図 A1 : 1/300, A3 : 1/600

補助基準点一覧 (1/2)

測点	X座標	Y座標	備考
3-1	27485.753	-59529.610	基準点座標, 3級基準点
3-2	27431.833	-59337.350	"
4-1	27439.192	-59530.192	基準点座標, 4級基準点
4-2	27416.177	-59486.387	"
4-3	27399.345	-59450.408	"
4-4	27376.525	-59395.027	"
4-5	27381.366	-59341.174	"
4-6	27456.418	-59408.047	"
4-7	27465.593	-59471.607	"

補助基準点一覧 (2/2)

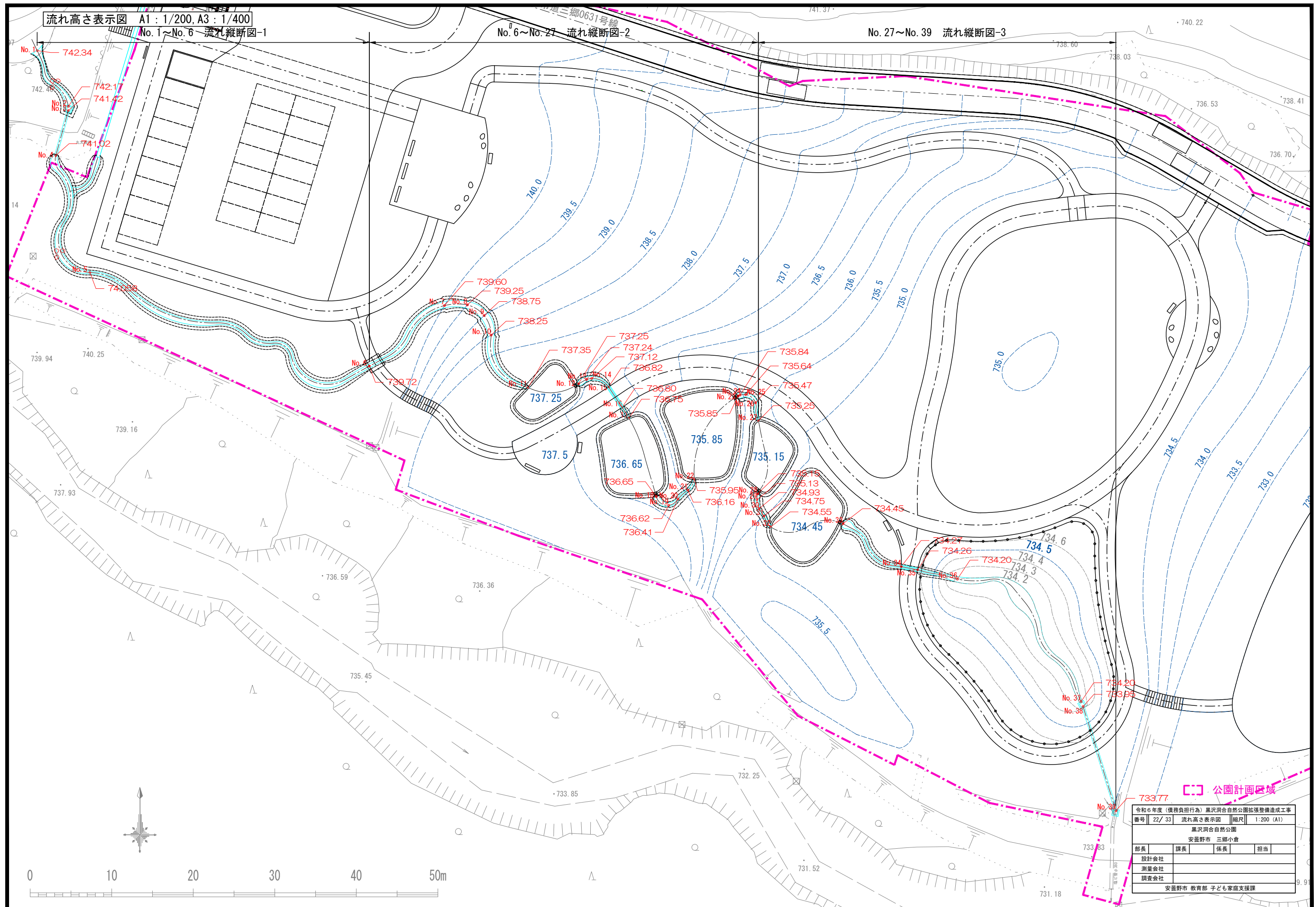
測点	X座標	Y座標	備考
P0.0	27457.470	-59530.988	中心点座標
P8.5	27455.031	-59522.845	"
P10.3	27454.515	-59521.121	"
P20.0	27451.732	-59511.829	"
P40.0	27445.994	-59492.670	"
P54.8	27441.747	-59478.492	"
P59.2	27440.485	-59474.277	"
P80.0	27434.517	-59454.351	"
P95.2	27430.156	-59439.791	"
P100.2	27428.721	-59435.001	"
P120.0	27423.040	-59416.033	"
P140.0	27417.302	-59396.874	"
P153.7	27413.371	-59383.750	"
P158.4	27412.023	-59379.248	"
P180.0	27405.826	-59358.556	"
P197.3	27400.862	-59341.983	"
P200.0	27400.087	-59339.397	"
P202.8	27399.284	-59336.714	"
P220.0	27394.349	-59320.238	"
P230.0	27391.480	-59310.658	"

座標一覧表 (1/3)

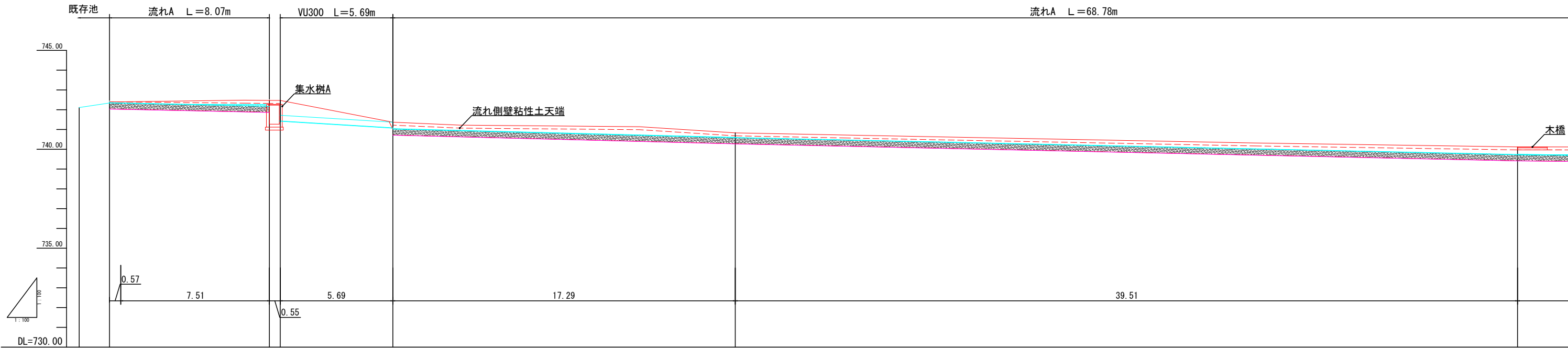
測点	X座標	Y座標	備考
B1	27463.154	-59528.282	水路センター
B2	27462.712	-59528.069	"
B3	27461.138	-59527.609	"
B4	27459.651	-59526.634	"
B5	27456.835	-59524.706	"
B6	27456.526	-59524.620	樹中心
B7	27450.813	-59526.242	水路センター
B8	27448.907	-59525.772	"
B9	27482.642	-59517.267	樹中心
B10	27475.594	-59513.574	"
B11	27448.604	-59521.690	水路センター
B12	27446.521	-59523.996	"
B13	27442.700	-59525.258	"
B14	27436.478	-59522.061	"
B15	27434.513	-59517.419	"
B16	27430.302	-59506.496	"
B17	27428.903	-59502.859	"
B18	27427.812	-59499.581	"
B19	27426.268	-59497.380	"
B20	27423.362	-59490.736	"
B21	27426.081	-59485.713	"
B22	27428.754	-59483.096	"
B23	27432.582	-59476.275	"
B24	27428.264	-59472.897	"
B25	27422.864	-59469.674	"
B26	27422.312	-59468.214	"
B27	27423.179	-59461.520	"
B28	27422.459	-59458.457	"
B29	27418.541	-59455.901	"
B30	27408.971	-59452.584	"

座標一覧表 (2/3)

測点	X座標	Y座標	備考
B31	27408.510	-59450.101	水路センター
B32	27409.720	-59448.841	"
B33	27411.317	-59447.954	"
B34	27421.322	-59442.606	"
B35	27419.767	-59440.374	"
B36	27418.975	-59440.299	"
B37	27409.571	-59440.113	"
B38	27407.120	-59439.738	"
B39	27405.825	-59439.039	"
B40	27405.404	-59438.723	"
B41	27405.240	-59438.485	"
B42	27405.684	-59429.714	"
B43	27404.907	-59428.236	"
B44	27403.192	-59426.785	"
B45	27400.530	-59423.447	"
B46	27400.426	-59422.563	"
B47	27400.041	-59420.563	"
B48	27399.828	-59419.767	"
B49	27399.555	-59418.410	"
B50	27399.179	-59416.682	"
B51	27398.864	-59411.709	"
B52	27397.812	-59408.820	"
B53	27395.974	-59407.323	"
B54	27392.602	-59405.830	"
B55	27389.225	-59403.709	"
B56	27386.046	-59	



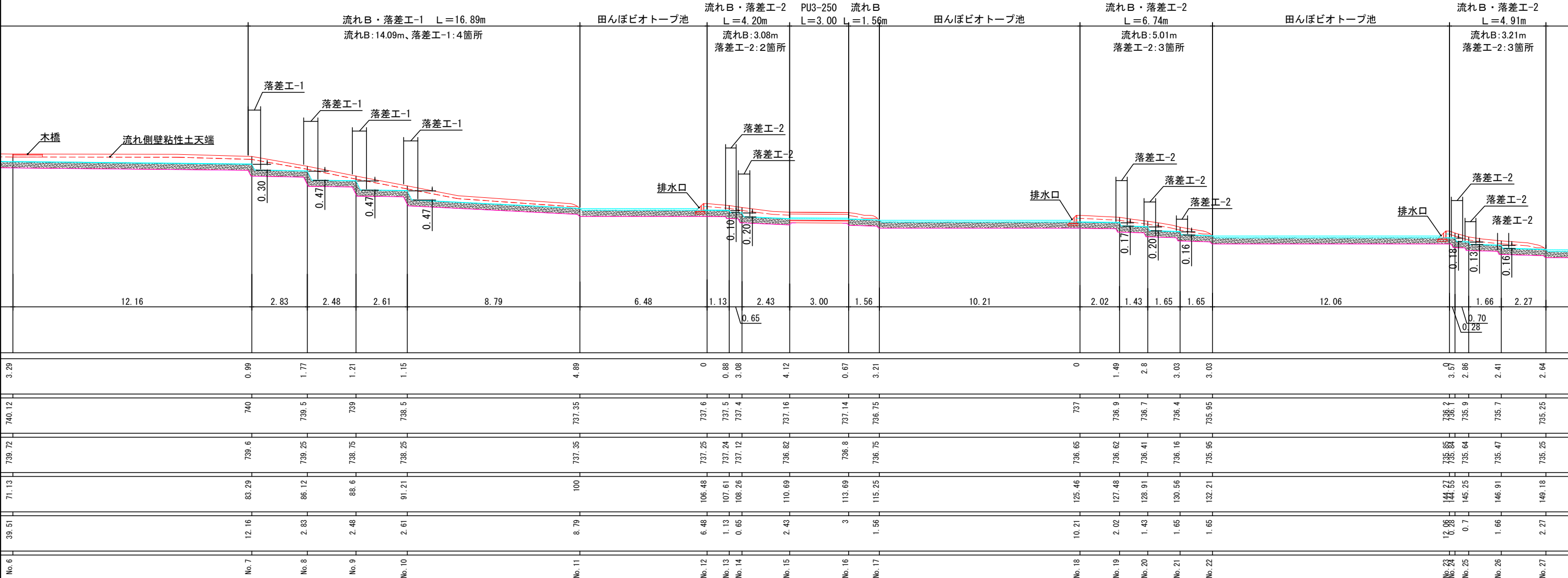
流れ縦断面図-1 A1 : 1/100, A3 : 1/200



勾配	0	2.10	0	4.39	2.54	3.29
計画高	742.40	742.47	742.47	741.37	740.83	740.12
河床高	742.34	742.17	741.42	741.02	740.58	739.72
追加距離	0	8.08	8.63	14.32	31.61	71.13
単距離	0	8.08	0.55	5.69	17.29	39.51
測点	No.1	No.2 No.3		No.4	No.5	No.6

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事					
番号	23 / 33	流れ縦断面図-1	縮尺	1 : 100 (A1)	
黒沢洞合自然公園					
安曇野市 三郷小倉					
部長		課長		係長	担当
設計会社					
測量会社					
調査会社					
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課					

流れ縦断面図-2 A1 : 1/100, A3 : 1/200

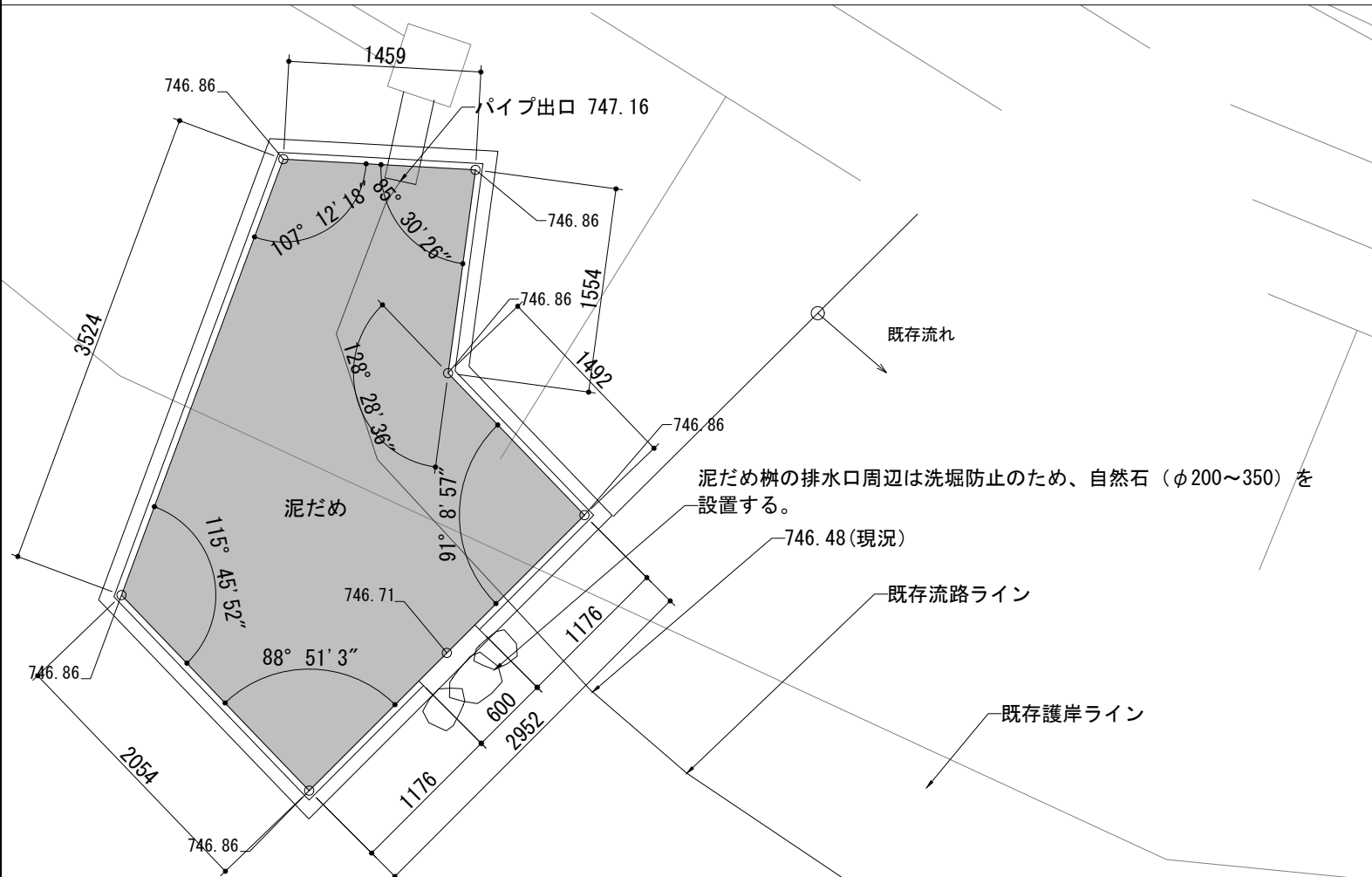




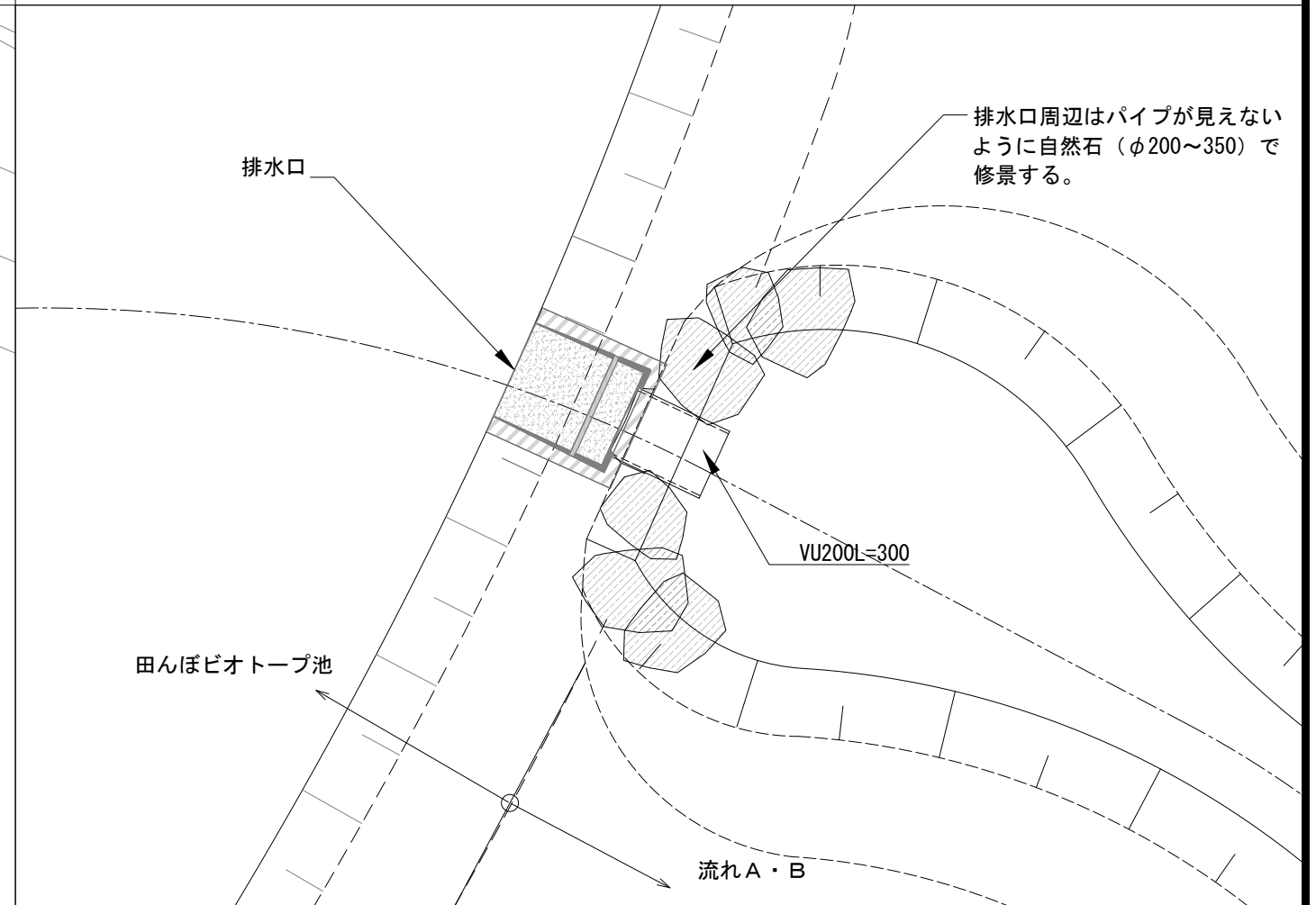
令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園成強整備造成工事				
番号	25 / 33	流れ緩断図-3	縮尺	1 : 100 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

泥だめ柵平面図

S=1 : 25 (50)

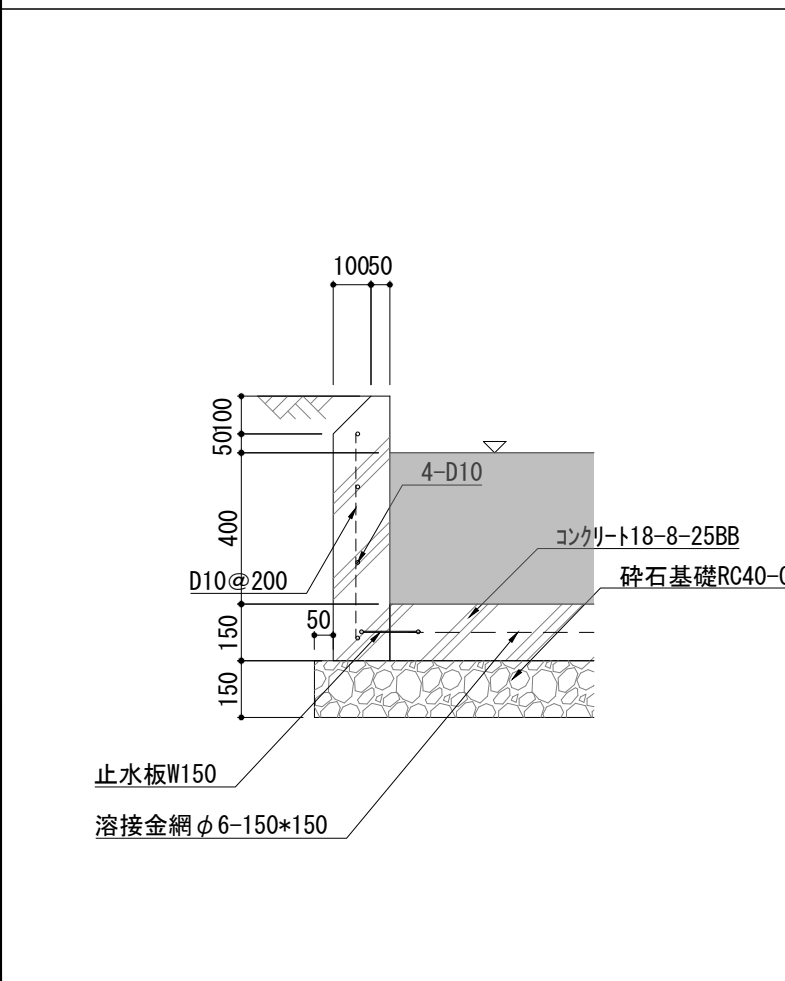


田んぼビオトープ池排水口部平面図

$$= 1:10 (20)$$


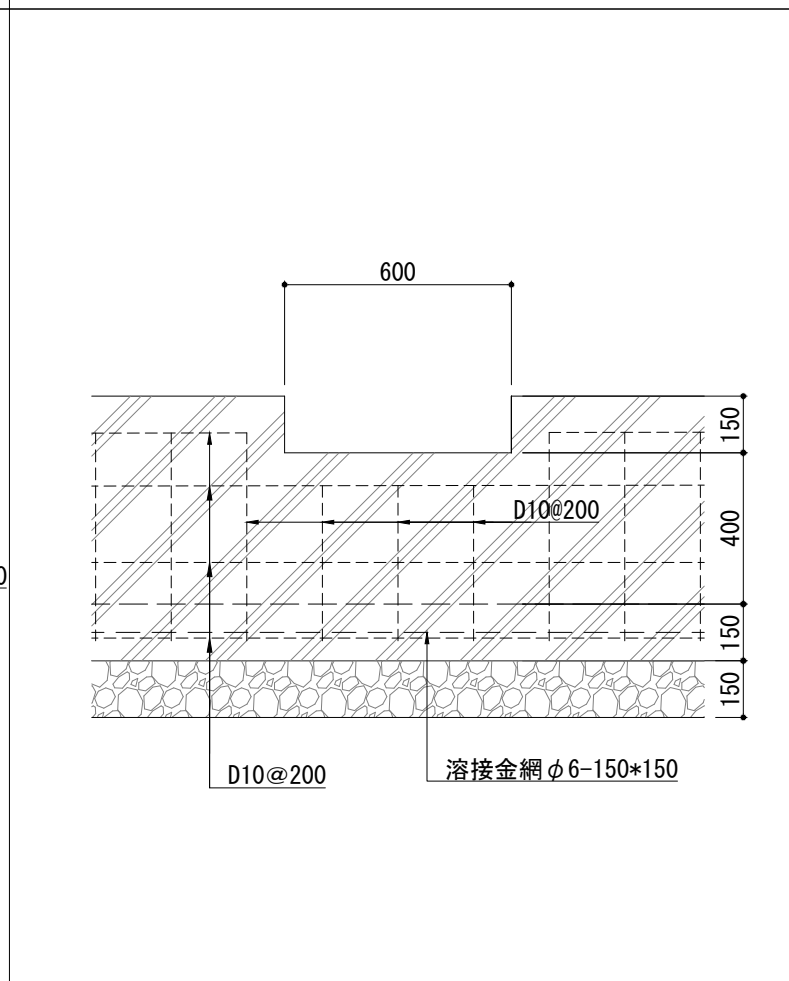
泥だめ枘断面図

S=1:10 (20)

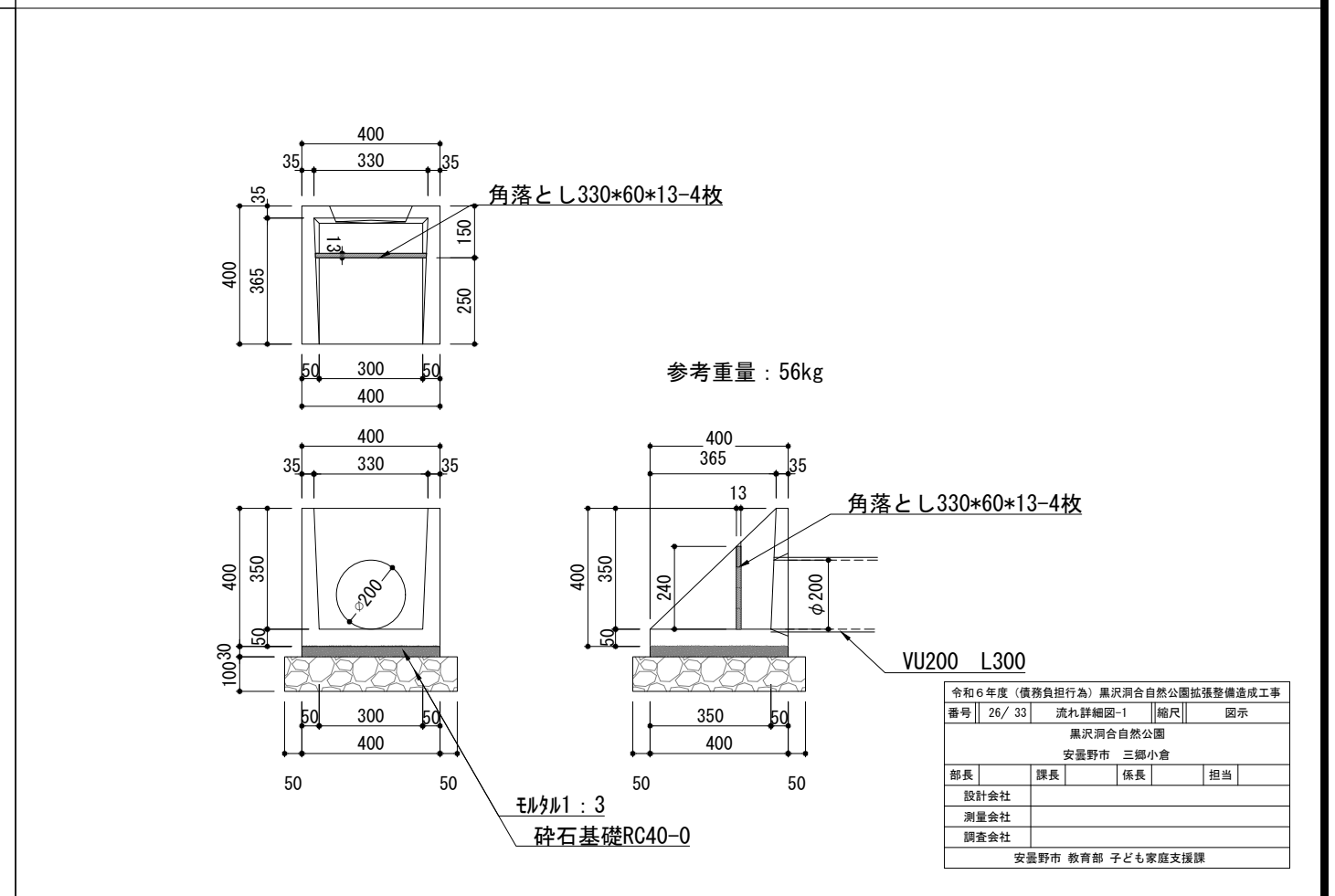


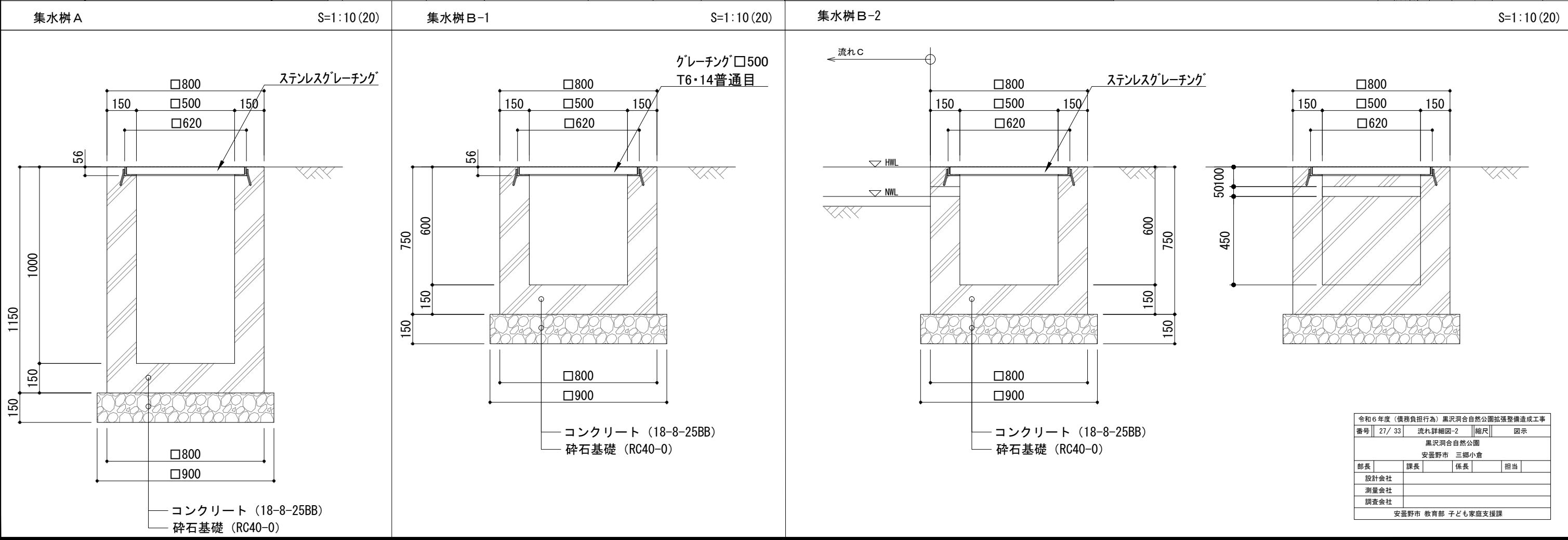
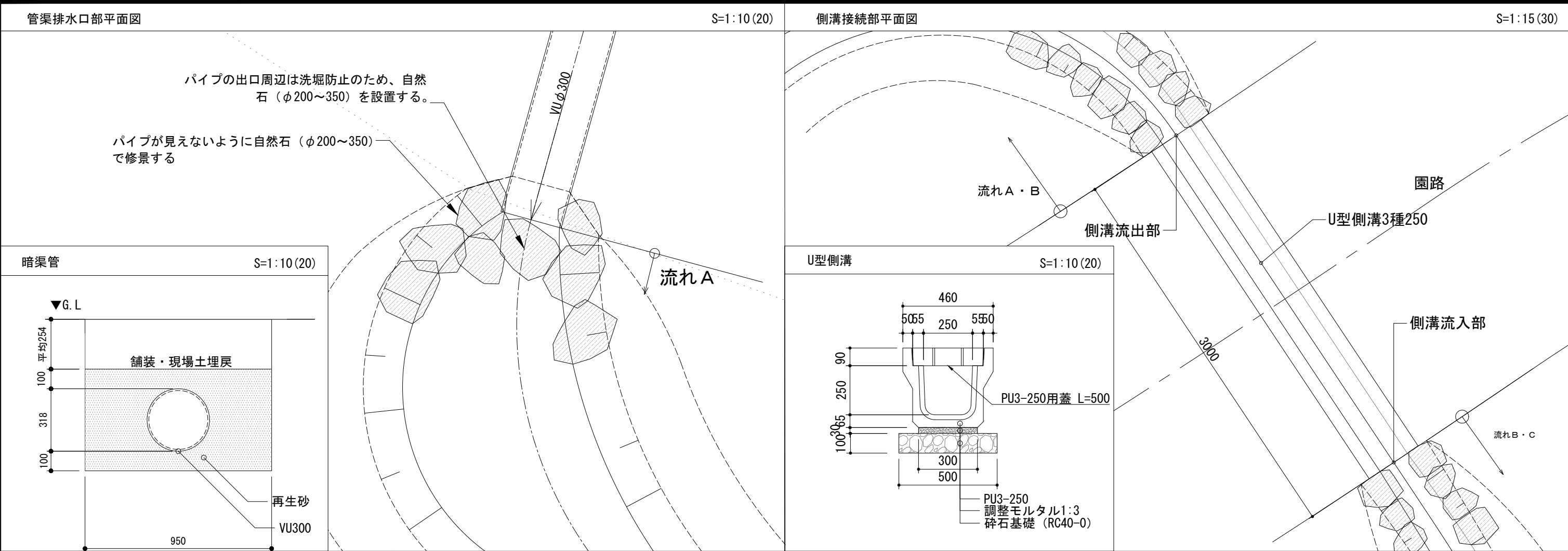
泥だめ枥排水部

S=1 : 10 (20)



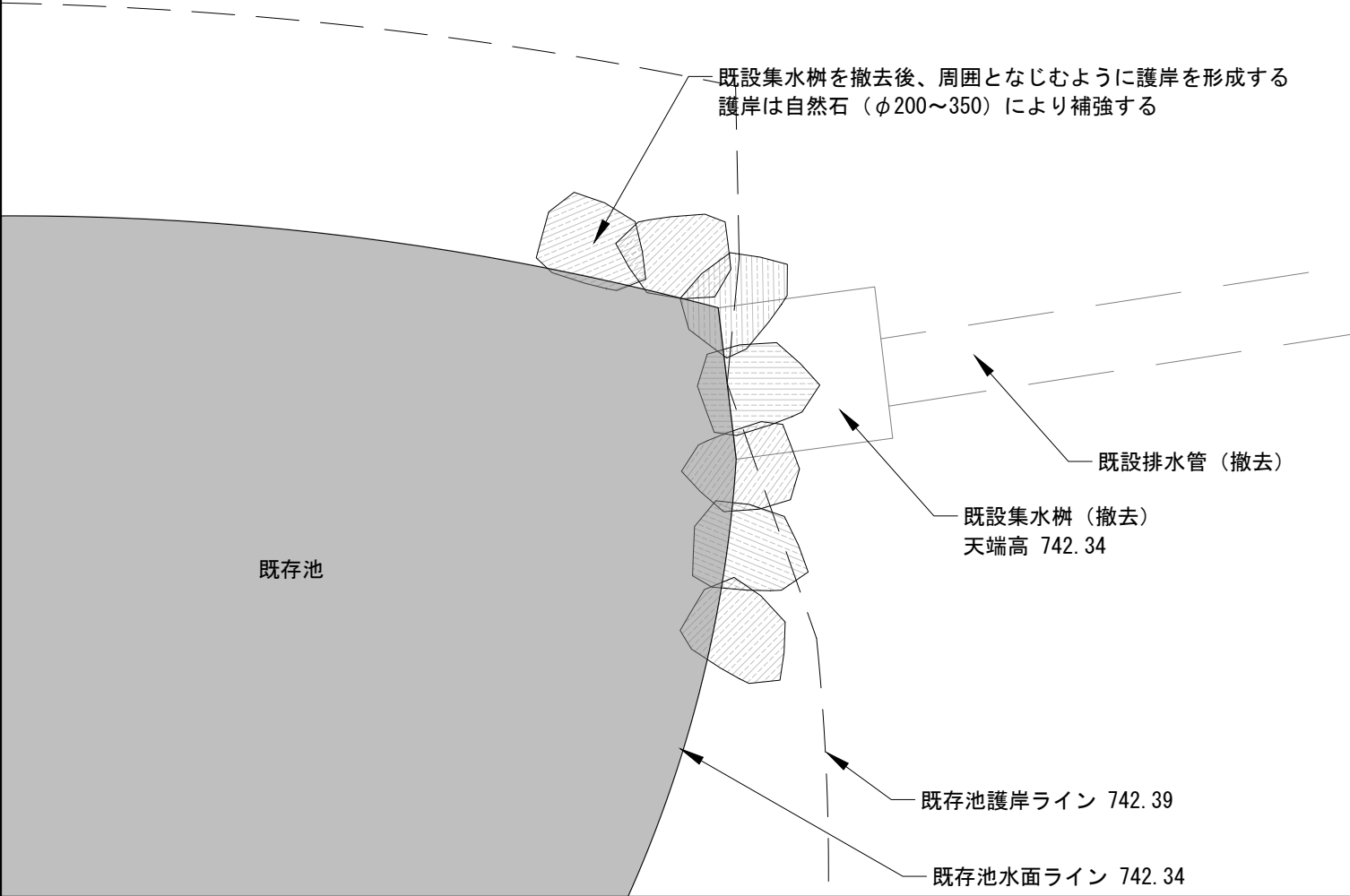
田んぼビオトープ池排水口部詳細図

 $\approx 1:10 (20)$ 



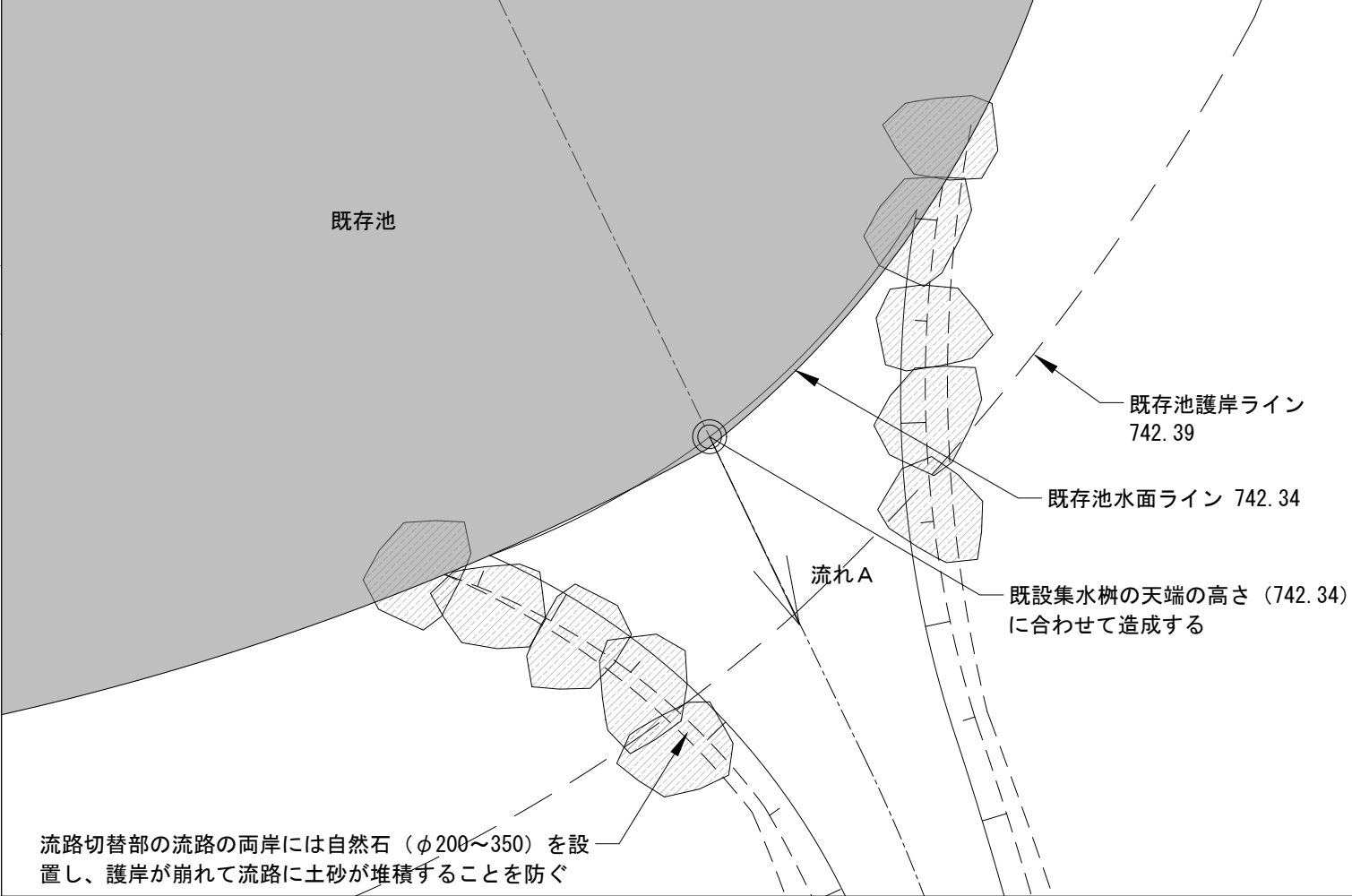
既存池集水桝撤去部平面図

S=1:10(20)



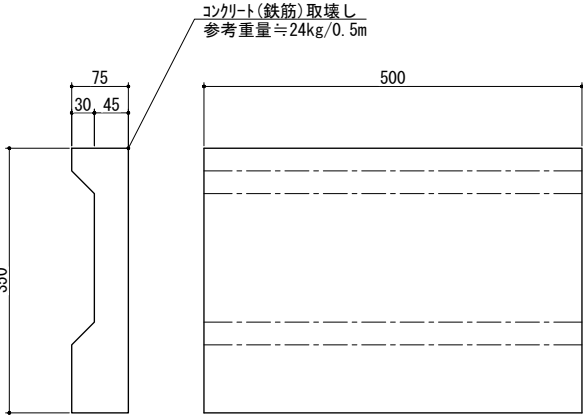
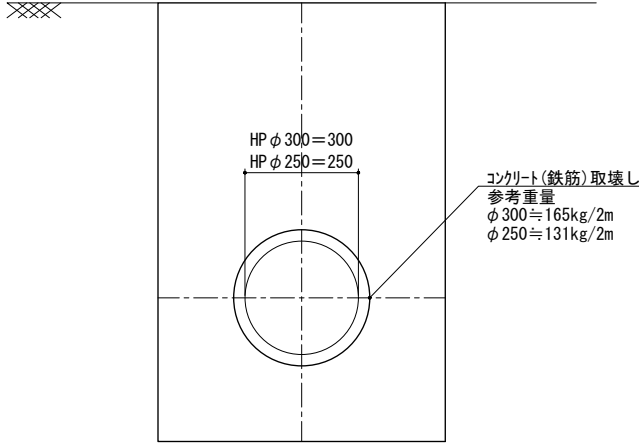
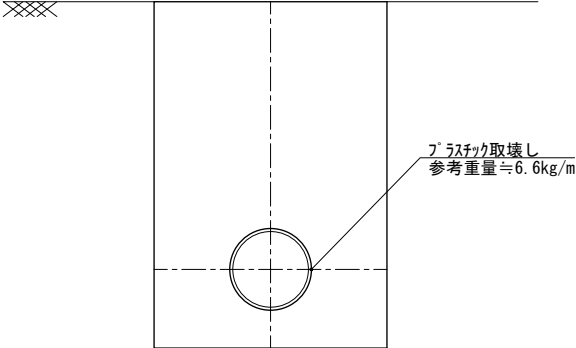
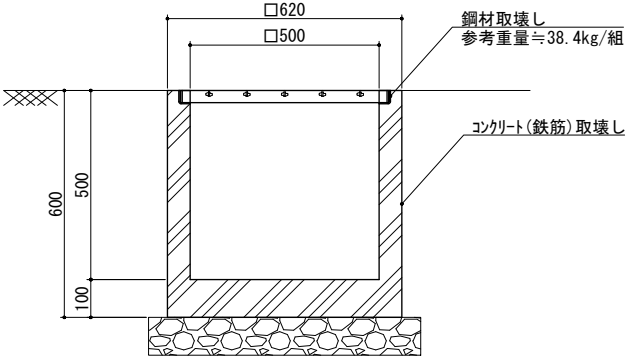
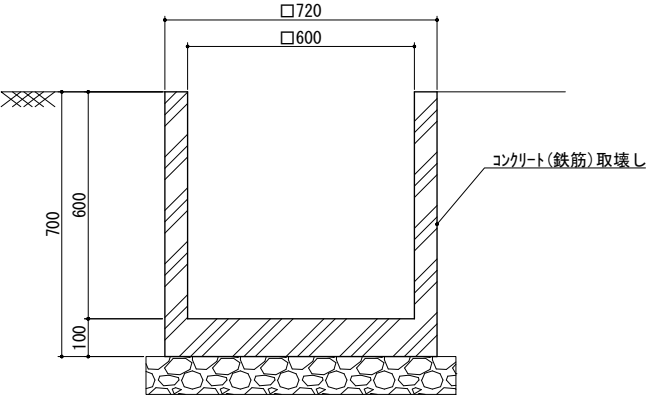
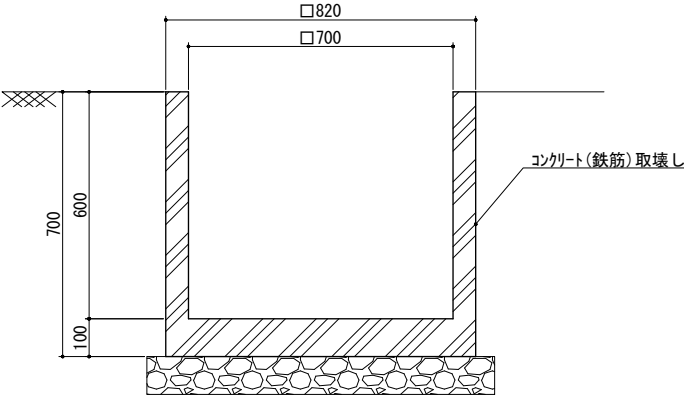
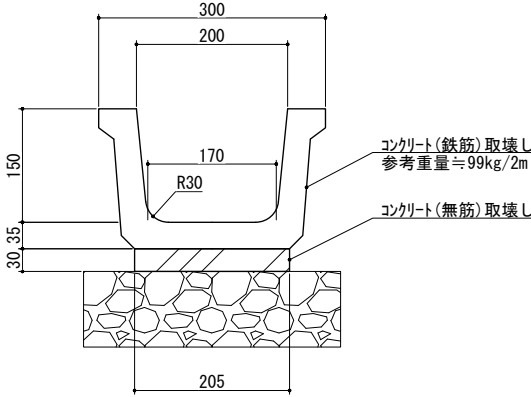
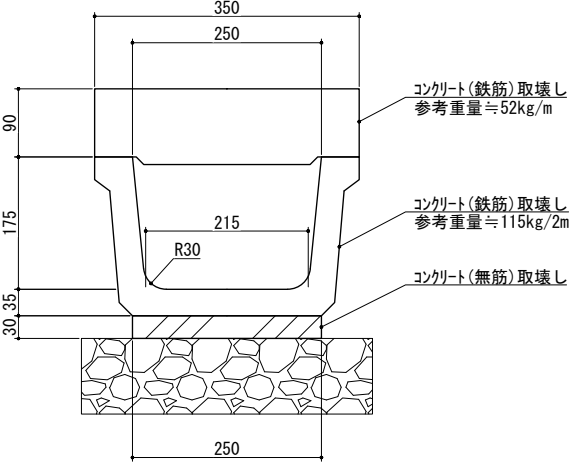
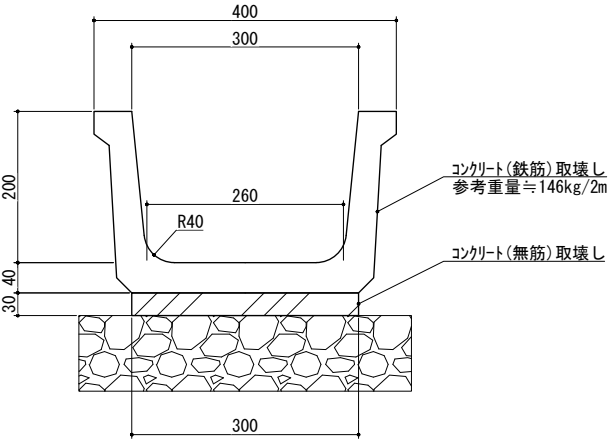
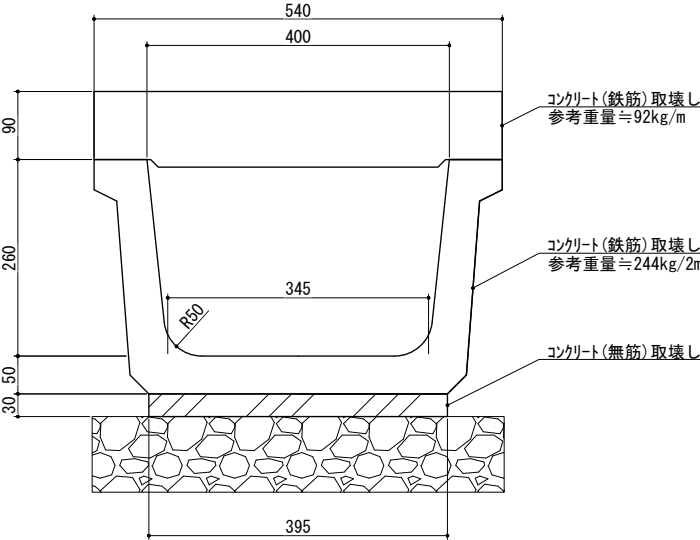
既存池流路切替部平面図

S=1:10(20)



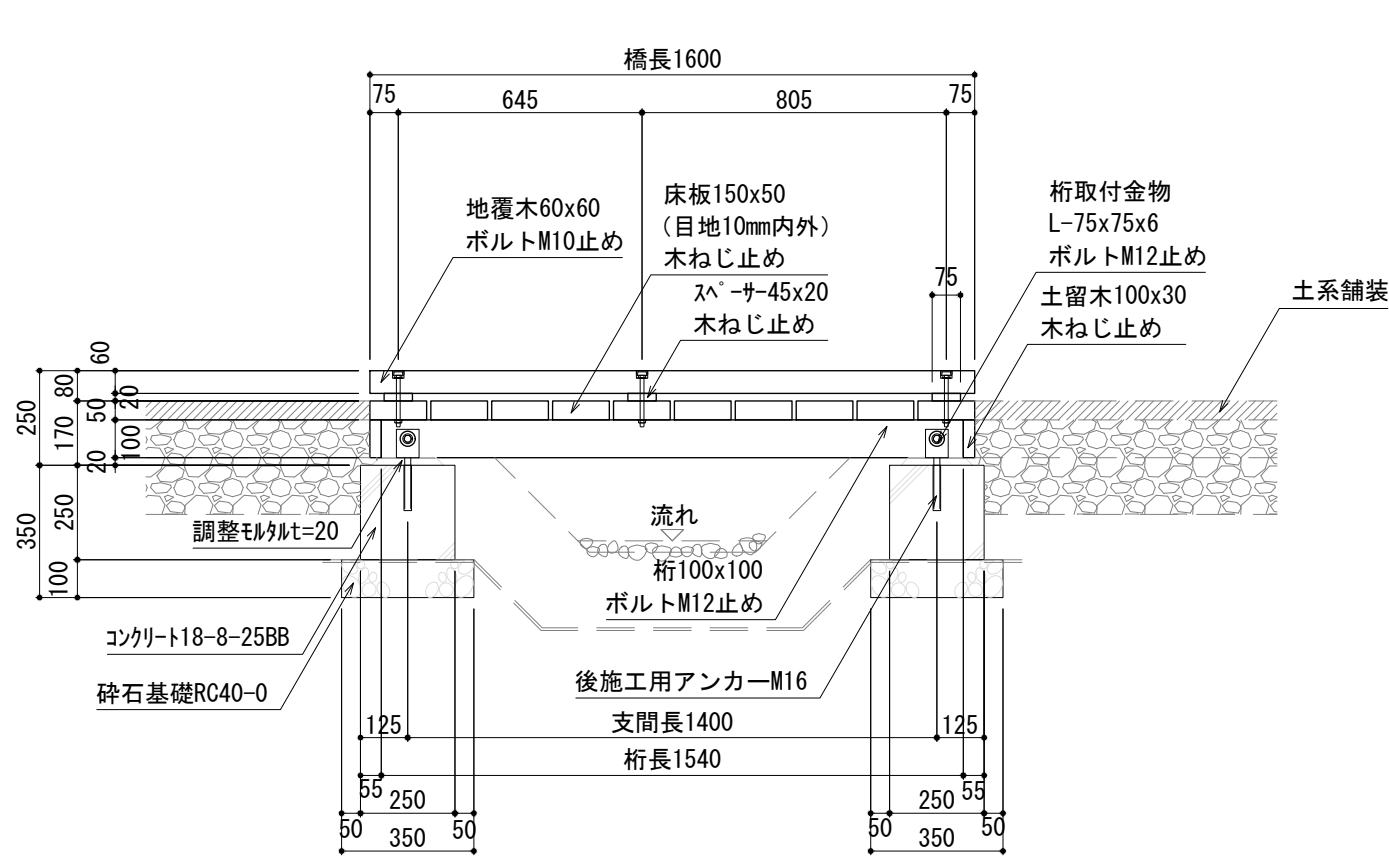
令和6年度(債務負担行為)黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	28/ 33	流れ詳細図-3	縮尺	図示
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

<div>流れA標準断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>流れB標準断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>流れC標準断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>田んぼピオトップ池標準断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>
<div>流れA標準平面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>流れB標準平面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>流れC標準平面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>BF300</div> <div>S=1:10(20)</div> <div></div>
<div>落差工-1標準正面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>落差工-1標準縦断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>落差工-2標準正面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	<div>落差工-2標準縦断面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>
<div>落差工-1標準平面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>		<div>落差工-2標準平面図</div> <div>S=1:20(40)</div> <div></div>	

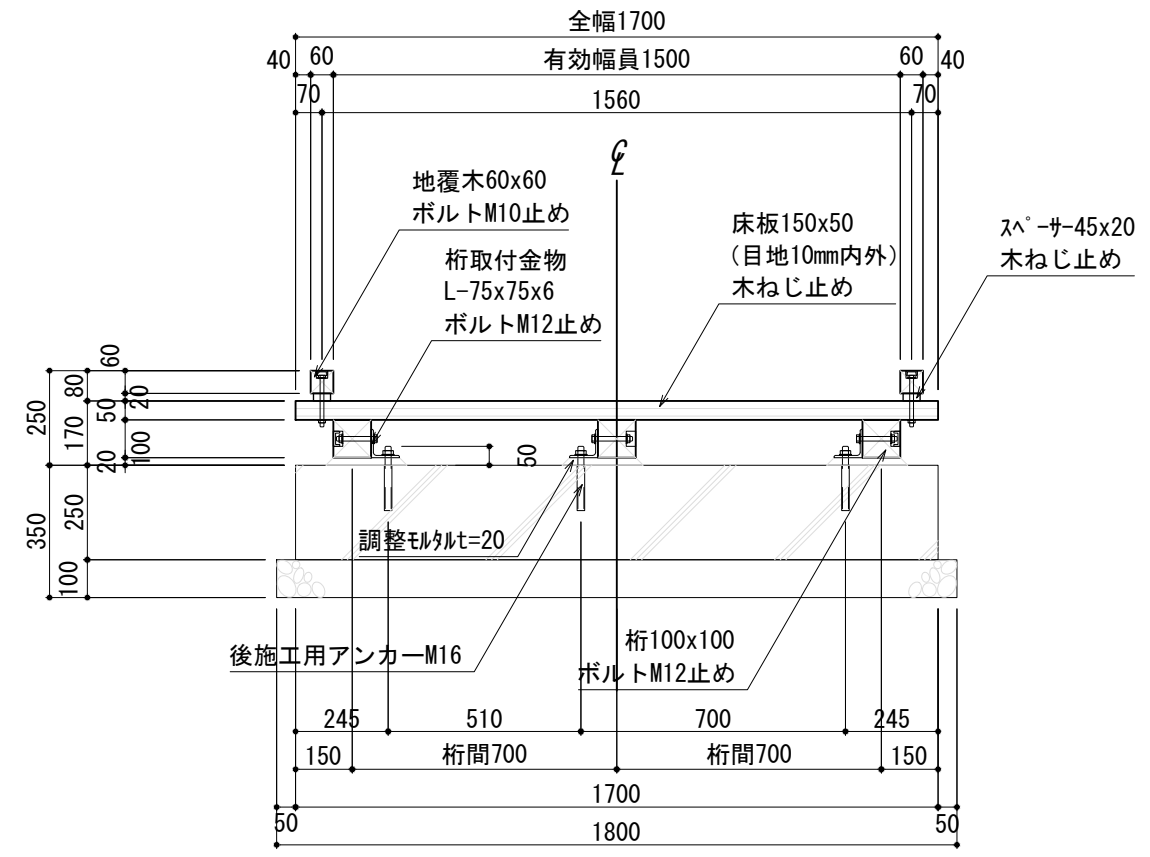
畦畔ブロック撤去	S=1:5 (A1)	HP (φ 250, φ 300) 撤去	S=1:10 (A1)	VU φ 200撤去	S=1:10 (A1)	集水柵-1撤去	S=1:10 (A1)
							
集水柵-2撤去	S=1:10 (A1)	集水柵-3撤去	S=1:10 (A1)	BF200撤去	S=1:5 (A1)	BF250(コンクリート蓋) 撤去	S=1:5 (A1)
							
BF300撤去	S=1:5 (A1)	BF400(コンクリート蓋) 撤去	S=1:5 (A1)				
							

<p>土系舗装 A</p> <p>S=1:10 (A1)</p> <p>土系舗装 (700-HRS同等品)</p> <p>再生クラッシャーラン (RC40-0)</p> <p>凍上抑制層 (RC40-0)</p>	<p>土系舗装 B</p> <p>S=1:10 (A1)</p> <p>土系舗装 (700-HRS同等品)</p> <p>再生クラッシャーラン (RC40-0)</p> <p>凍上抑制層 (RC40-0)</p>	<p>丸太階段</p> <p>S=1:20 (A1)</p> <p>横木 $\phi 120 \times 1500 \times 2$ 本</p> <p>ボルト M12</p> <p>袖木 $100 \times 130 \times 2$ 枚 階段にコーススレッド 止め</p> <p>杭木 $\phi 100 \times 1600$</p> <p>標準横断面</p> <p>平面図</p> <p>側面図</p> <p>断面図</p> <p>砂利敷 粒度調整砕石 25 t90</p> <p>横木 $\phi 120$</p> <p>面取り</p> <p>150 程度</p> <p>ボルト M12</p> <p>杭木 $\phi 100$</p> <p>袖木 $100 \times 130 \times 2$ 枚 階段にコーススレッド 止め</p> <p>特記事項</p> <p>木材) : 木材は杉材 (丸太材はR-加工) を使用する。 : 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。 : 木材は全て加工後、AZNA ヘンケル TEC030 木材保存剤を加圧注入処理する。 : 加圧注入方法は JIS A 9002 による。 : 本製品は AO 認証取得工場にて製作するものとする。 : 木材の見え掛り部は面取を行なう。</p> <p>ボルト類) : ボルトは溶融亜鉛メッキとする。 : コーススレッドは、ステンレスとする。 産地) : 縦丸太 (木材表面) のボルトのみ、産地内に納める。 製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。 本製品は (一社) 日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。 本製品は (一社) 日本公園施設業協会の SP 表示認定企業にて製作する。</p>
<p>碎石舗装 (駐車場)</p> <p>S=1:10 (A1)</p> <p>上層路盤 再生クラッシャーラン (RC40-0)</p> <p>下層路盤 凍上抑制層 (RC40-0)</p>	<p>碎石舗装 (仮設道)</p> <p>S=1:10 (A1)</p> <p>再生クラッシャーラン (RC40-0)</p>	
<p>地先境界ブロック</p> <p>S=1:5 (A1)</p> <p>地先境界ブロック A 種 120 \times 120 \times 600</p> <p>基礎コンクリート (18-8-25BB) t100</p> <p>碎石基礎 (RC40-0)</p>		

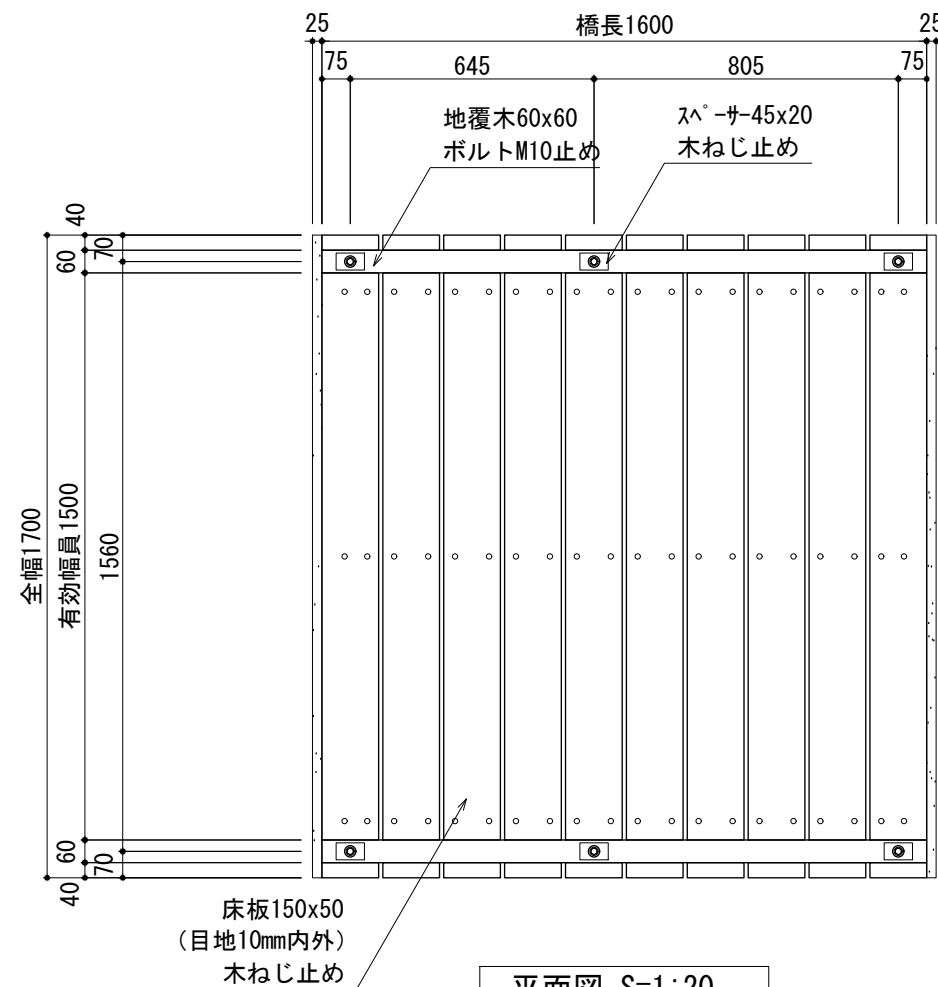
<div> <div>浸透トレンチ A-1</div> <div>S=1:10 (20)</div> </div>	<div> <div>浸透トレンチ A-2</div> <div>S=1:10 (20)</div> </div>	<div> <div>浸透トレンチ B</div> <div>S=1:10 (20)</div> </div>
<div> <div>集水柵 C</div> <div>S=1:10 (20)</div> </div>	<div> <div>オーバーフロー管</div> <div>S=1:10 (20)</div> </div>	
		<div> <div>令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事</div> <div>番号 32/33 施設詳細図-2 縮尺 図示</div> <div>黒沢洞合自然公園</div> <div>安曇野市 三郷小倉</div> <div>部長 課長 係長 担当</div> <div>設計会社</div> <div>測量会社</div> <div>調査会社</div> <div>安曇野市 教育部 子ども家庭支援課</div> </div>



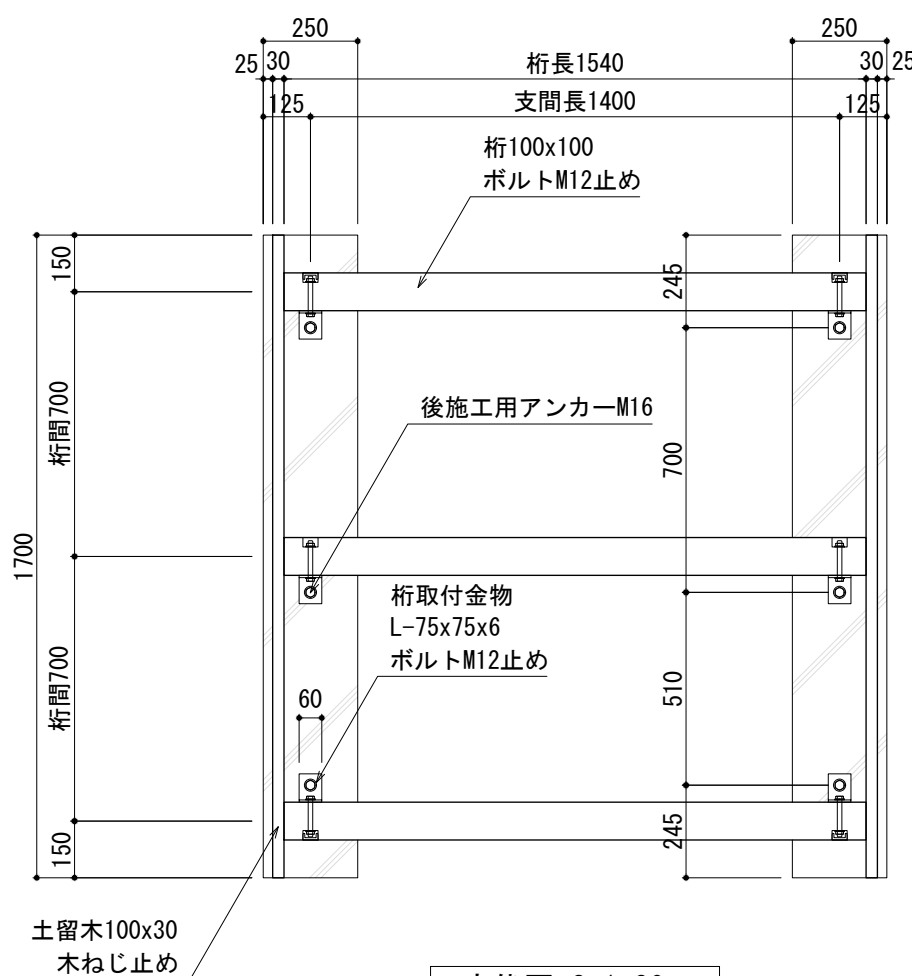
立断面図 S=1:20



断面図 S=1:20



平面図 S=1:20



床伏図 S=1:20

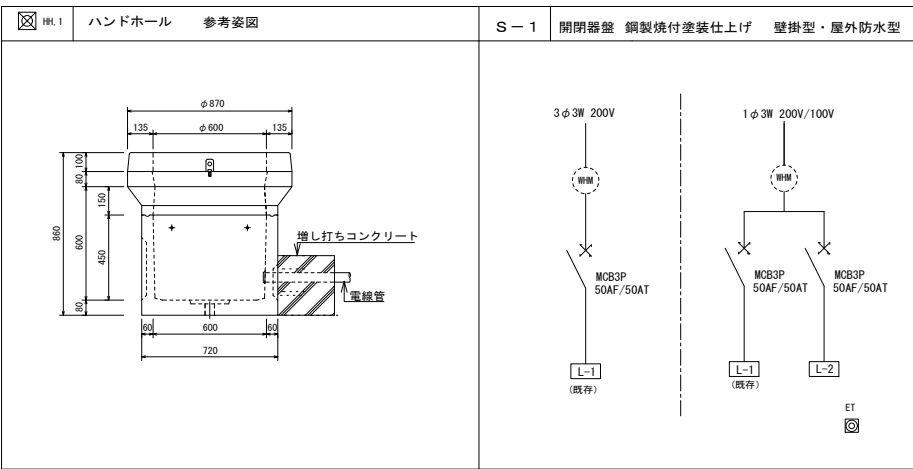
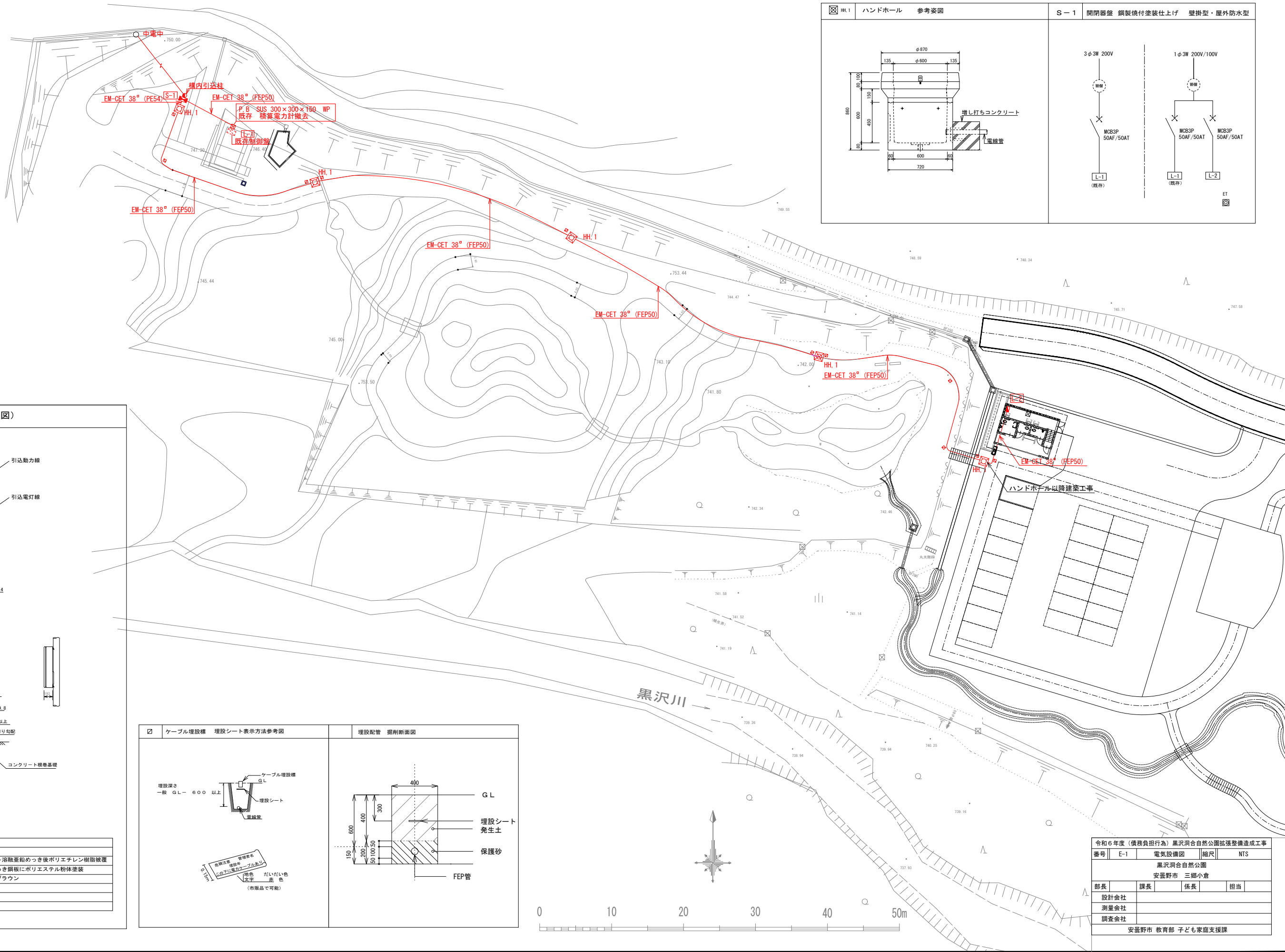
特記事項

木材	木材は杉材（角材はプレーナ加工）を使用する。 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。 木材は全て加工後、AZNA ベンキュアEC030木材保存剤を加圧注入処理する。 加圧注入方法はJIS A 9002による。 本製品はA0認証取得工場にて製作するものとする。 木材の見え掛り部は面取を行なう。
鋼材	鋼材は、溶融亜鉛めっきとする。
ボルト類	ボルトは、溶融亜鉛めっきとする。 木ねじ類はステンレスとする。
座堀	見え掛り（木材表面）のボルトは図示無き限り座堀内に納める。 見え掛りの座堀は、シリコンキャップをつける。（下方向からを除く）
製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。	
本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。	
設計条件や商品改良によって図面を変更する場合があります。	

設計条件

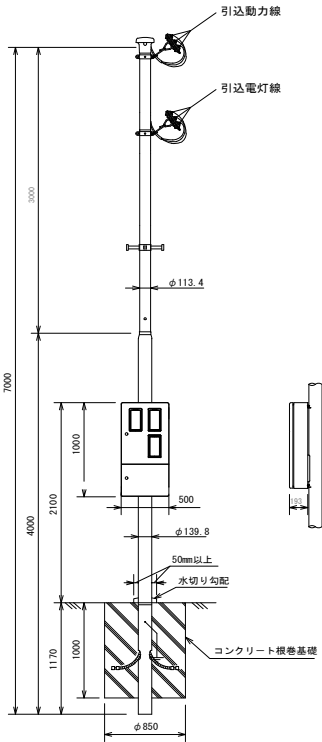
活荷重は 床：5000N/m ² 、根太：3500N/m ² 、地震：1000N/m ² とする。
積雪は0.30mを想定する。
設計地耐力は、常時50kN/m ² 、地震時75kN/m ² を想定する。
背面土の単位体積重量は、 $\gamma=18\text{kN/m}^3$ とする。
背面土の摩擦抵抗角は、 $\phi=30^\circ$ とする。

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	33/ 33	施設詳細図-3	縮尺	図示
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長	課長	係長	担当	
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

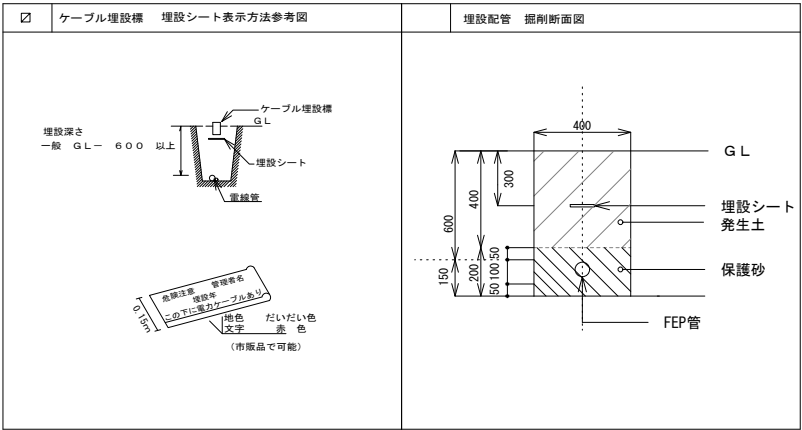


構内引込柱ボックス付 (参考姿図)

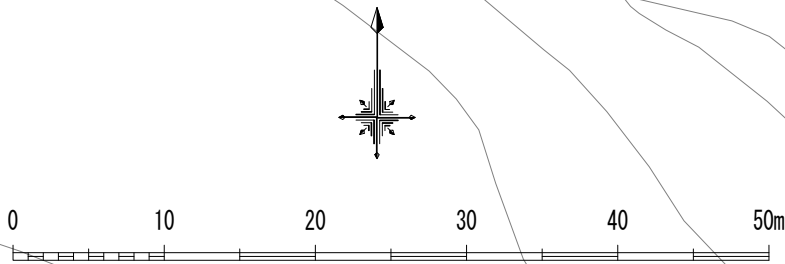
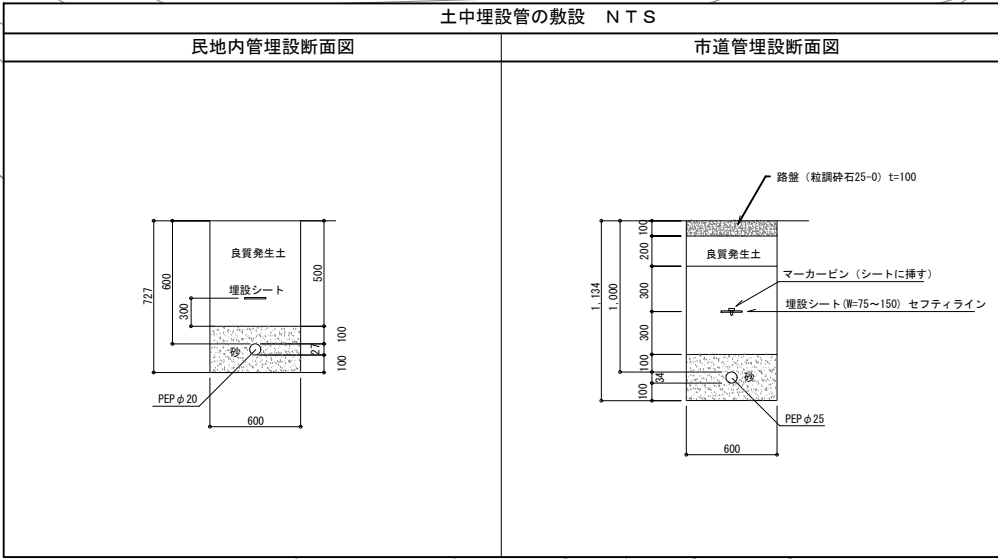
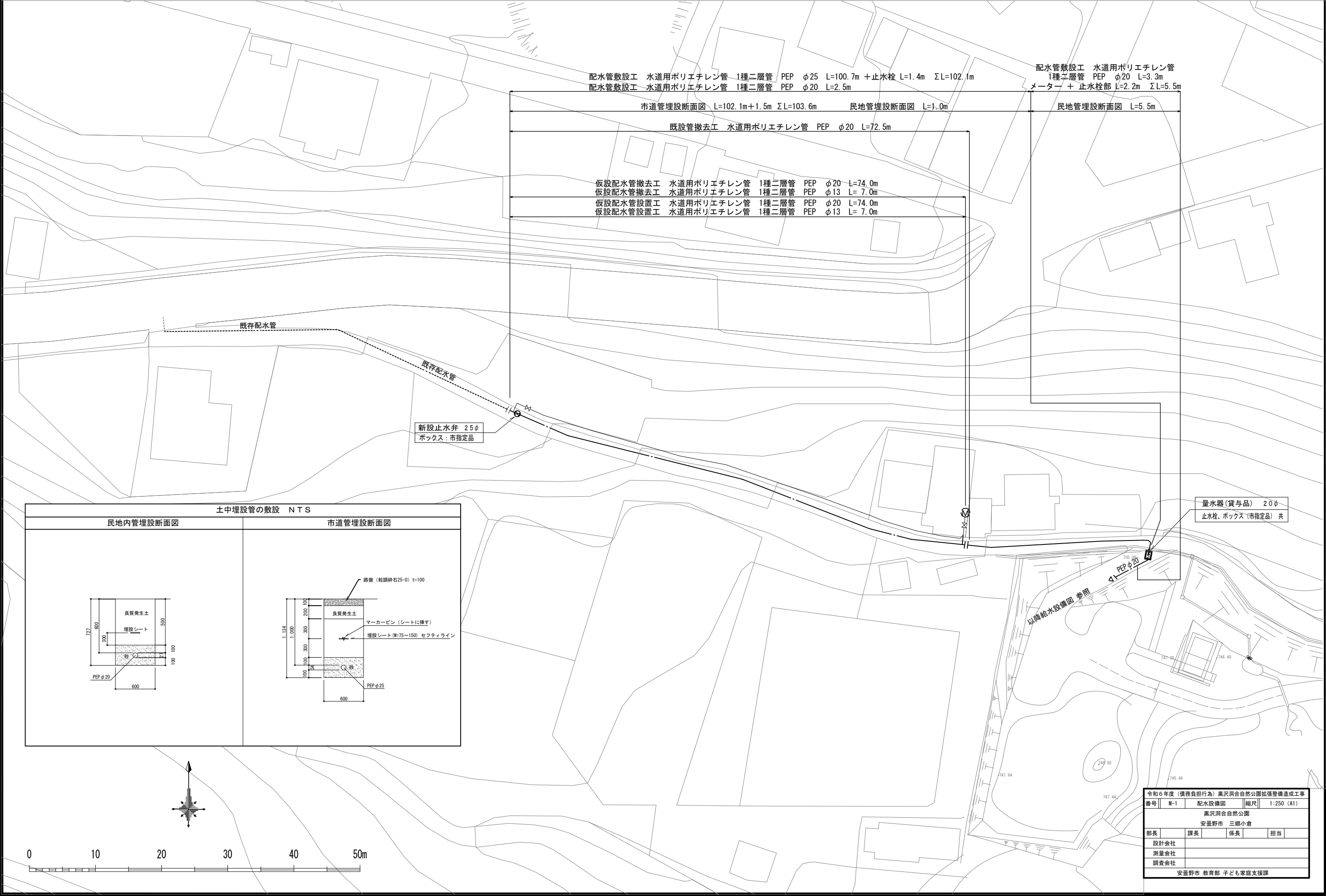
(電灯線 38mm² 用)



用途	電灯・動力
全長	7.0m
ポール本体	フローコート溶融亜鉛めっき後ポリエチレン樹脂被覆
ボックス	溶融亜鉛めっき鋼板にポリエステル粉体塗装
色調	アイボリー又はコービーブラウン
実用最大引き込み径間 (丙種風圧荷重)	2.1m以下
電灯	動力



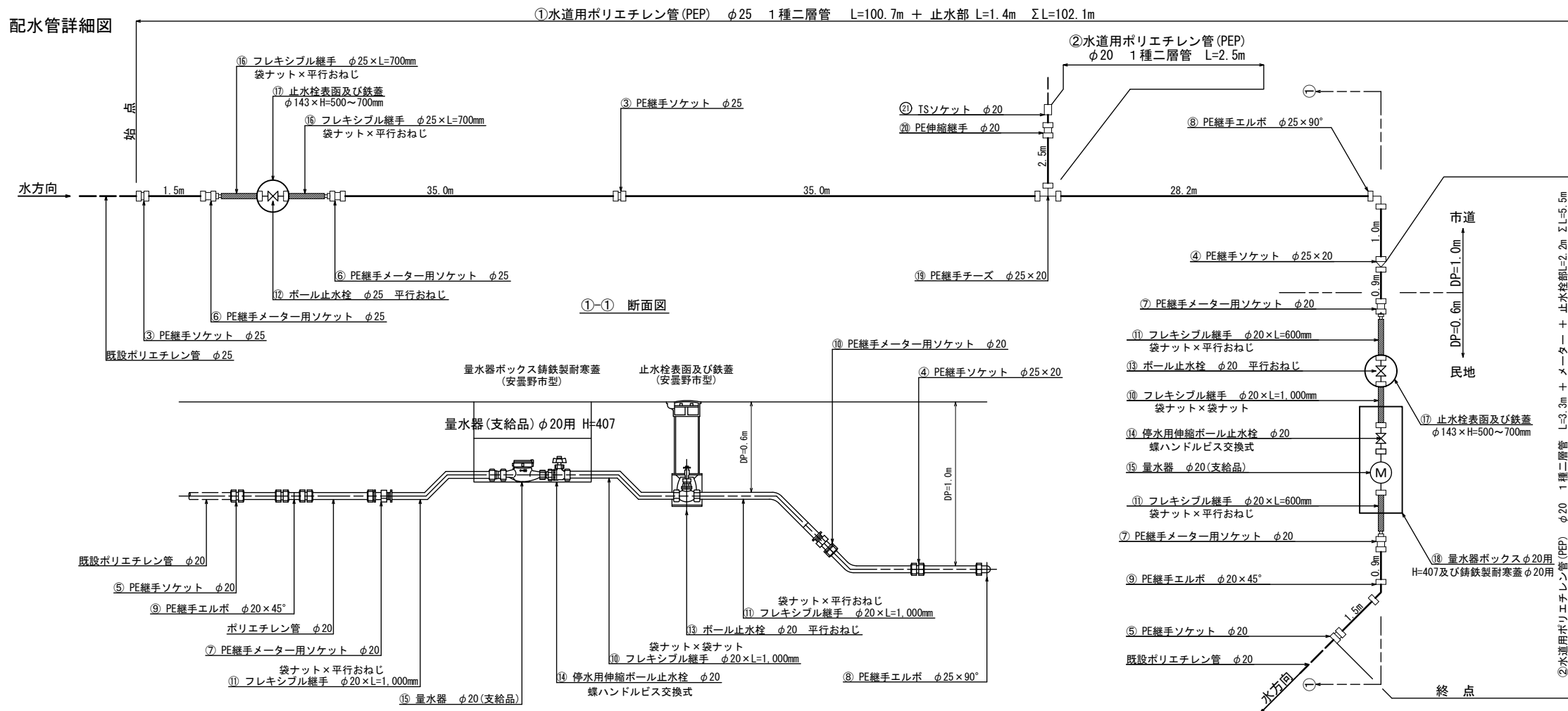
令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	E-1	電気設備図	縮尺	NTS
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長		係長 担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				



令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	M-1	配水設備図	縮尺	1:250 (A1)
黒沢洞合自然公園				
安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

配水管詳細図 N T S

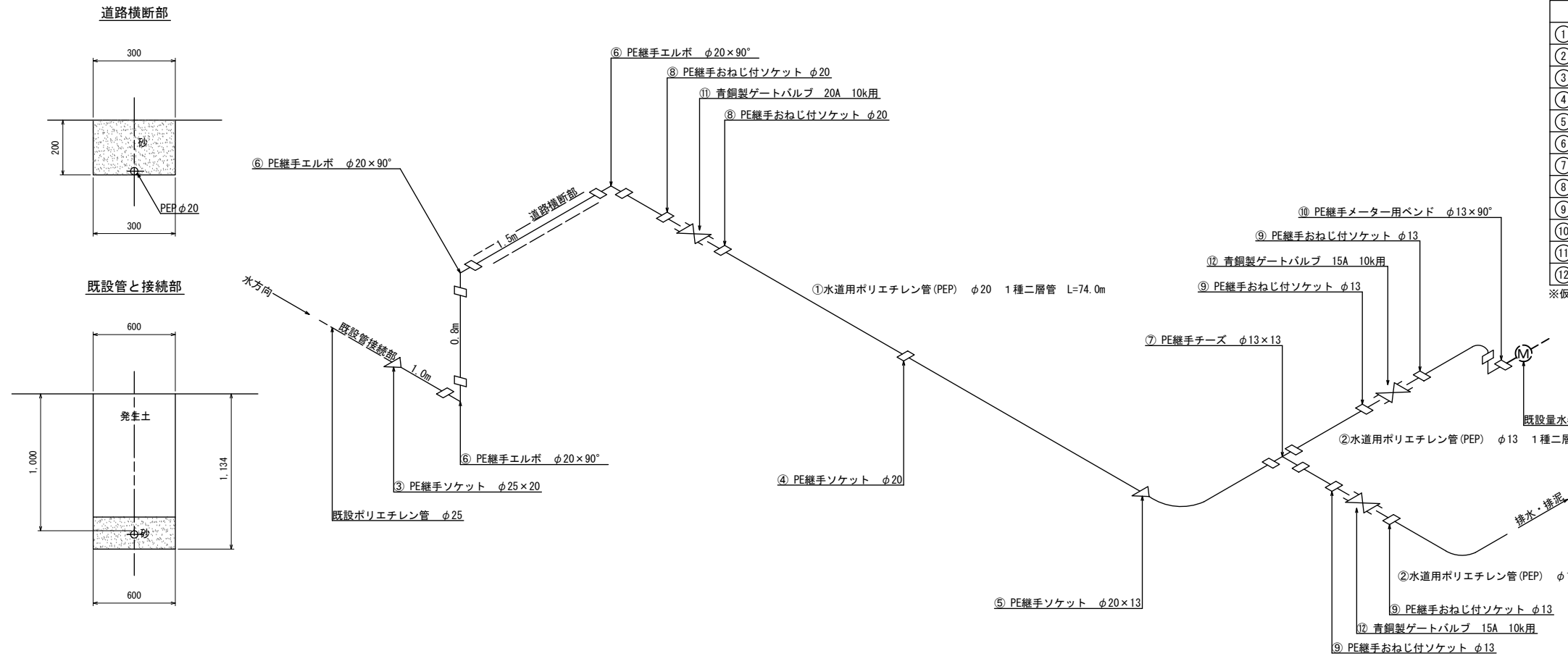
配水管詳細図



資料表

	名 称	単 位	数 量	備 考
①	水道用ポリエチレン管(PEP) φ25 1種二層管	m	100.7	
②	水道用ポリエチレン管(PEP) φ20 1種二層管	m	5.8	2.5+3.3
③	PE継手ソケット φ25	個	2	
④	PE継手ソケット φ25×20	個	1	
⑤	PE継手ソケット φ20	個	1	
⑥	PE継手メーター用ソケット φ25	個	2	
⑦	PE継手メーター用ソケット φ20	個	2	
⑧	PE継手エルボ φ25×90°	個	1	
⑨	PE継手エルボ φ20×45°	個	1	
⑩	フレキシブル継手 φ20×L=1,000mm 袋ナット×袋ナット	個	1	
⑪	フレキシブル継手 φ20×L=600mm 袋ナット×平行おねじ	個	2	
⑫	ボール止水栓 φ25 平行おねじ	個	1	
⑬	ボール止水栓 φ20 平行おねじ	個	1	
⑭	停水用伸縮ボール止水栓 φ20 蝶ハンドルビス交換式	個	1	
⑮	量水器 φ20(支給品)	個	1	
⑯	フレキシブル継手 φ25×L=700mm 袋ナット×平行おねじ	個	2	
⑰	止水栓表図及び鉄蓋 φ143×H=500～700mm	組	2	安曇野市型
⑱	量水器ボックス φ20用H=407及び鑄鉄製耐寒蓋 φ20用	組	1	安曇野市型
⑲	PE継手チーズ φ25×20	個	1	
⑳	PE伸縮継手 φ20	個	1	
㉑	TSソケット φ20	個	1	
	埋設シート(給水管用) 青地白文字 2倍折り込み W=75mm	m	110.1	102.1+2.5+5.5
	水道用識別マーカー	個	8	※20m+曲がり

仮設配水管詳細図



資料表

	名 称	単 位	数 量	備 考
①	水道用ポリエチレン管(PEP) φ20 1種二層管	m	74.0	
②	水道用ポリエチレン管(PEP) φ13 1種二層管	m	7.0	
③	PE継手ソケット φ25×20	個	1	
④	PE継手ソケット φ20	個	1	
⑤	PE継手ソケット φ20×13	個	1	
⑥	PE継手エルボ φ20×90°	個	3	
⑦	PE継手チーズ φ13×13	個	1	
⑧	PE継手おねじ付ソケット φ20	個	2	
⑨	PE継手おねじ付ソケット φ13	個	4	
⑩	PE継手メーター用バンド φ13×90°	個	1	
⑪	青銅製ゲートバルブ 20A 10k用	個	1	
⑫	青銅製ゲートバルブ 15A 10k用	個	2	

※仮設配管は3回使用(転用方式)とする。

令和6年度（債務負担行為）黒沢洞合自然公園拡張整備造成工事				
番号	M-2	配水管詳細図	縮尺	NTS
黒沢洞合自然公園 安曇野市 三郷小倉				
部長		課長	係長	担当
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 教育部 子ども家庭支援課				

